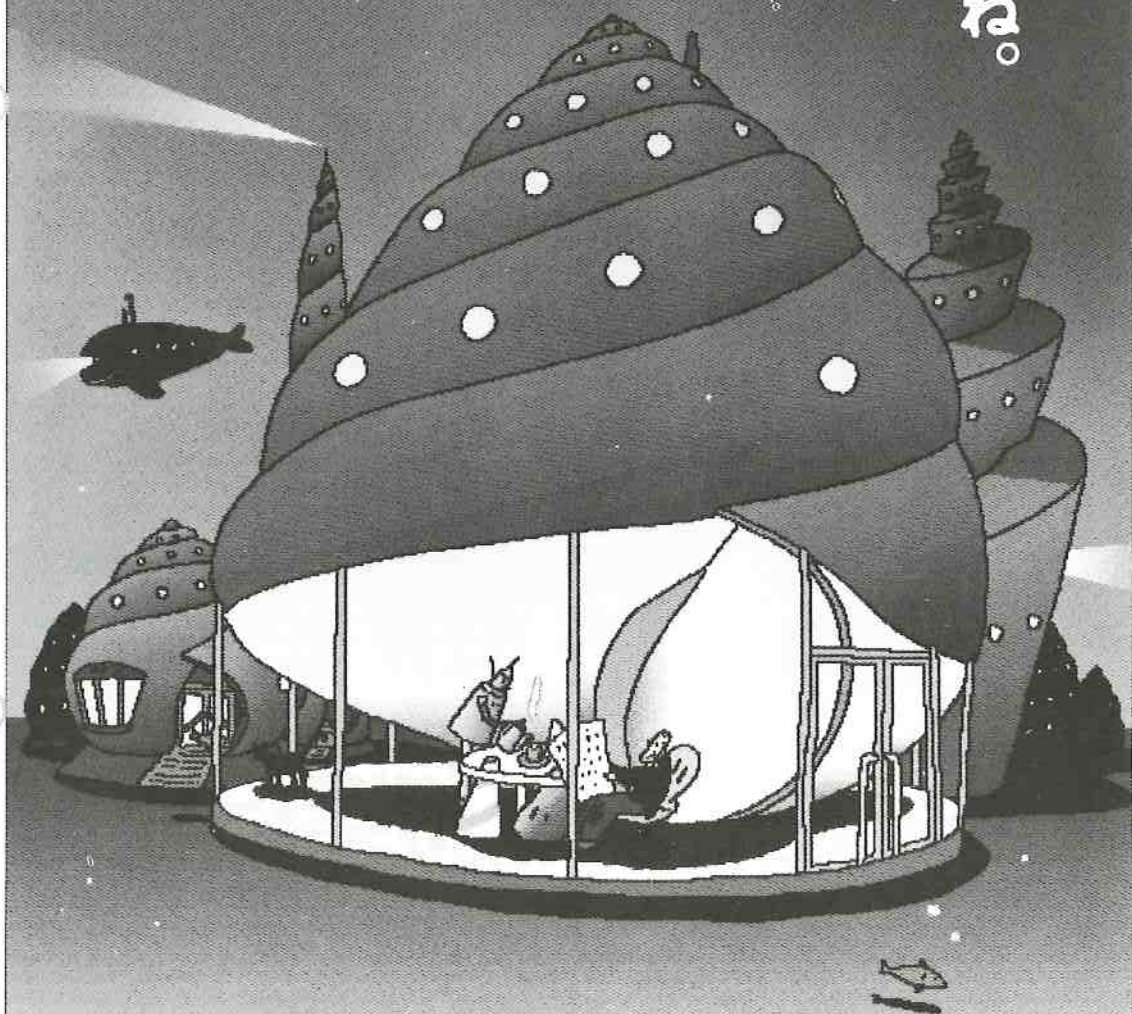


 **HITACHI**
—— 技術の日立 ——

技術にも、
体温があるんだね。

どこへ行ったら会えるという存在でもないのに
毎日、たくさんさんの便利や快適を送り続けていて。
いないように見えて、ちゃんとどこにいます。
それが、私たちの技術の正体なんです。
みんなの幸せのためにがんばっています、よろしく。
これからも、ずっとずっと人と技術の
あたたかい関係を考えていきます。日立です。



人と技術の理想をめざす **Interface**
株式会社 日立製作所

第45回国民体育大会 “とびうめ国体”

熊本が2種目(成年女子、少年男子)に優勝 地元・福岡が成年男子2部を制す

第45回国民体育大会は、福岡県で「とびうめ国体」と銘打ち、秋季大会は9月21日に開幕した。

ハンドボール競技は、22日から26日までの5日間、成年男子1部、成年男子2部、成年女子、少年男子、少年女子の5種目に熱戦をくり広げた。ここにその詳細をお伝えしよう。

成年男子1部

1回戦

香川	37	[1918-14]	10	北海道
(讃岐)	前半、スタートから両	(札幌選抜)		
(戦評)	前半、スタートから両			
得000033110200				
北海道	00033110200			
西葉	川崎山本寺藤畑林			
小千	岡 赤柏奥畠山小佐花無			
G K	F P (審・鈴木)			
(戦評)	前半、石川が福田のミドルシュートで先制し、16分頃までリードを続けるが、沖繩も粘り強く攻め、前半終了間際石川に退場者が出る。そこをうまく攻めて2			
香川	37	(2)	P T	10

ムともキビキビとよく動いたが、札幌はミスが多く、ツキにも見放された感じで、リバウンド、逆速攻さらにはミドル、サイドと讃岐クの得点を許し、18-4と大差をつけられた。後半に入っても決定力に勝る讃岐クが速攻、セットで得点を重ね快勝した。

沖繩	34	[1915-1613]	29	石川
(戦評)	前半、香川はよくボールを回し攻めるが、湧永を中心とする広島島の固いディフェンスに阻まれ得点できない。逆に広島は速攻			
得00049415004250				
沖繩	0049415004250			
新	黒東名新武新内比喜新			
G K	F P (審・大村)			
(戦評)	前半、香川はよくボールを回し攻めるが、湧永を中心とする広島島の固いディフェンスに阻まれ得点できない。逆に広島は速攻			
香川	34	(4)	P T	29

2回戦

香川	37	[1918-14]	10	北海道
(讃岐)	前半、スタートから両	(札幌選抜)		
(戦評)	前半、スタートから両			
得00035523250004				
香川	0035523250004			
中田山田田戸下橋岡田井				
G K	F P (審・北島)			
(戦評)	前半、香川はよくボールを回し攻めるが、湧永を中心とする広島島の固いディフェンスに阻まれ得点できない。逆に広島は速攻			
香川	34	(0)	P T	29

点差で前半を終る。後半になって沖繩は余裕のある試合展開をする。石川もよく奮闘し9分には連続速攻で1点差まで盛り返すもそこま

で、沖繩が3連続速攻で差をつけ勝利をものにす。石川も最後までがんばり好感がもてた。

から得点を重ね21-8で前半終了。後半も広島は、玉村、河原のロングシュート、甲斐の速攻で如点し差をひろげた。香川もGKの好守など善戦したが、広島は圧勝であった。

成年男子2部

1回戦

香川	37	[1918-14]	10	北海道
(讃岐)	前半、スタートから両	(札幌選抜)		
(戦評)	本年の教員大会決勝戦の再現、その後補強して万全を期す福岡、開始早々福岡・清家のロングで立て続けに3点を先取と福岡上々の出だし、それに対し、京都シュートミスにて得点決まらず13分までノーゴール、しかし、13分			
得000100005105001				
香川	00100005105001			
田谷井谷内田島口辺里濱田				
G K	F P (審・高橋)			
(戦評)	本年の教員大会決勝戦の再現、その後補強して万全を期す福岡、開始早々福岡・清家のロングで立て続けに3点を先取と福岡上々の出だし、それに対し、京都シュートミスにて得点決まらず13分までノーゴール、しかし、13分			
香川	34	(2)	P T	13

のPTから波に乗り前半7-7で折り返す。後半、京都は余裕を取り戻し着々と加点、それに対し、福岡はあせり、思うように得点決まらず、結局17-15で京都が勝利を握る。

香川	37	[1918-14]	10	北海道
(讃岐)	前半、スタートから両	(札幌選抜)		
(戦評)	前半開始、両チームともにミスが目立ったが、地力に勝る本田技研が速攻、セットを着実に決め20-8で前半終了。後半花巻クも中島を中心に粘りつつ、本田技研のパワーとスピードについて行けず結局39-17で本田技研			
得0000900014120				
京都	0000900014120			
山咲国佐楠川池西中西加清				
G K	F P (審・阿部野)			
(戦評)	前半開始、両チームともにミスが目立ったが、地力に勝る本田技研が速攻、セットを着実に決め20-8で前半終了。後半花巻クも中島を中心に粘りつつ、本田技研のパワーとスピードについて行けず結局39-17で本田技研			
京都	34	(8)	P T	15

2回戦

香川	37	[1918-14]	10	北海道
(讃岐)	前半、スタートから両	(札幌選抜)		
(戦評)	前半開始、両チームともにミスが目立ったが、地力に勝る本田技研が速攻、セットを着実に決め20-8で前半終了。後半花巻クも中島を中心に粘りつつ、本田技研のパワーとスピードについて行けず結局39-17で本田技研			
得00030211400004				
福岡	0030211400004			
田井口原田賀田家藤野堤				
G K	F P (審・阿部野)			
(戦評)	前半開始、両チームともにミスが目立ったが、地力に勝る本田技研が速攻、セットを着実に決め20-8で前半終了。後半花巻クも中島を中心に粘りつつ、本田技研のパワーとスピードについて行けず結局39-17で本田技研			
福岡	34	(2)	P T	15

三重(本田) 39 [1920-18] 17 岩手 技研(花巻)

が快勝。

得004421020301
田田川島川部口木中橋角
〔鎌多谷中及阿山吉鈴木高岩〕

G K F P (審・川島) P T (1) 17

〔重〕木本村西木村藤塚基口松
〔三〕高橋山山香立福内大梅田平
得0007054524210

G K F P (審・川島) P T (2) 39

〔天崎電気〕52
〔戦評〕前半10分まで、ブライ
ドヤステップシュートなど沖縄の
持ち前のテクニクで互角に戦か
つたが、セット、速攻ともに勝る
大崎が多彩な攻撃と確実なディ
フェンスで着実に加点し快勝した。

得004530202330
〔沖縄〕島江嘉垣村里原嘉場城
〔新溜〕黒東名新武新内比喜新

G K F P (審・吉村) P T (1) 22

〔玉〕内辺橋田田藤田住斐内田下
〔和〕矢渡大和武首中魚甲山珍宮
得00249010151056

G K F P (審・秋庭) P T (0) 52

〔戦評〕広島は湧永主体の鍛えら
れたチームで、スピード、パワー
とはげしいディフェンスで京都を

〔廣島23〕16京都

寄せつけない一方的なゲーム、京
都も全員で走り粘るが力の差はど
うしようもなく前半終了。後半、
京都のディフェンスがよくなり、
パスカットからの速攻が決まりゲ
ームを盛り上げる。広島は点差が
開いて気ゆるんだのか雑なプレ
イが目立つ、逆に京都がゲームを
盛り上げ観客を喜ばせたが地方に
勝る広島が逃げ切る。

得0032300032111
〔京都〕下本府間本口辺田村藤水
〔山咲国佐桶川池西西中加清久〕

G K F P (審・浜田) P T (2) 16

〔藤川〕藤川巻原村田山川田取斐田
〔井〕井宇酒河玉堀西中武荷甲奥
得0041580020201

G K F P (審・小笠原) P T (0) 23

〔戦評〕日本リーグ一部同志の対
戦となったこの試合は、スピード
感あふれ1点を争う好ゲームとな
ったが、埼玉が接戦をものにした。
前半中盤までは埼玉が押し気味で
15分8-6とリードしていたが、
三重もミドルシュートが決まりだ
し、前半は三重が13-11と2点リ
ードで終了。後半に入り、埼玉・
首藤のロングが連続して決まり、
10分15-15と同点に追いつく、
17分17-17から埼玉・宮下が連続し
てロングシュートを決め試合を決
定づけた。

〔埼玉23〕19三重

G K F P (審・大和) P T (3) 27

〔重〕木本村西木村藤塚基口松
〔三〕高橋山山香立福内大梅田平
得003303381224

G K F P (審・鈴木) P T (4) 18

〔京都〕下本府間本口辺田村藤水
〔山咲国佐桶川池西西中加清久〕

〔山形〕山納藤部藤沢山山平山藤
〔形〕山納藤部藤沢山山平山藤
〔戸〕戸部藤沢山山平山藤
〔小〕小奥小赤大佐
得007411200209

〔東〕原藤川賀江田藤田藪坂坂
〔三〕三安出浅水新伊会大白早
得0000371110942

〔東〕原藤川賀江田藤田藪坂坂
〔三〕三安出浅水新伊会大白早
得0000371110942

結局27-18で三重が勝利を収めた
が、京都の健闘を大いにたたえた
試合であった。

トローラタワーの首藤をマーク、
動きの悪くなった所を広島が多彩
な攻撃を見せ宿敵大崎に快勝した。
点差は開いたものの、レフェリー
が選手の手をうまく引き出し、素
晴らしい決勝戦であった。

〔重〕木本村西木村藤塚基口松
〔三〕高橋山山香立福内大梅田平
得00033003381224

G K F P (審・大和) P T (2) 19

〔玉〕内辺橋田田藤田住斐内田下
〔和〕矢渡大和武首中魚甲山珍宮
得00033003381224

G K F P (審・川島) P T (1) 19

〔戦評〕広島は湧永勢でスタート、
まさに湧永対大崎の戦いは、両チ
ームのチームカラーが出たゲーム
であった。すなわち広島は玉村、
河原の上と荷川取のポストプレー
がかみあい有利にゲームを進める。
一方、大崎も宮下のミドルシュ
ート、魚住、武田が走りゴールを決
める。しかし、広島は宮下とコン

〔藤川〕藤川巻原村田山川田取斐田
〔井〕井宇酒河玉堀西中武荷甲奥
得005064411404

G K F P (審・川島) P T (2) 29

〔山形〕山納藤部藤沢山山平山藤
〔形〕山納藤部藤沢山山平山藤
〔戸〕戸部藤沢山山平山藤
〔小〕小奥小赤大佐
得007411200209

G K F P (審・中川) P T (2) 35

〔東〕原藤川賀江田藤田藪坂坂
〔三〕三安出浅水新伊会大白早
得0000371110942

〔東〕原藤川賀江田藤田藪坂坂
〔三〕三安出浅水新伊会大白早
得0000371110942

た。10分頃までは一進一退の攻防
であったが、山形・佐藤、斉藤を
軸に速いパス回しから自在に攻撃、
速攻も飛びだし試合巧者の東京を
圧倒し前半を終えた。後半、東京
も反撃、GKの好守もあり終盤盛
り上がった試合であった。山形の
スピード、パワーともにクリリン
な印象が残った。

〔日本電産〕30
〔大分選抜〕26
〔戦評〕立ち上がりは単調な攻め
に対し、逆速攻で4-1と愛知リ
ードでスタートしたが、15分頃か
ら大分は萩本の速攻、サイドシュ
ートと伊南のカットイン、ロング
シュートなどで追い上げシソー

〔愛知〕立上りは単調な攻め
に対し、逆速攻で4-1と愛知リ
ードでスタートしたが、15分頃か
ら大分は萩本の速攻、サイドシュ
ートと伊南のカットイン、ロング
シュートなどで追い上げシソー

〔大分選抜〕26
〔戦評〕立ち上がりは単調な攻め
に対し、逆速攻で4-1と愛知リ
ードでスタートしたが、15分頃か
ら大分は萩本の速攻、サイドシュ
ートと伊南のカットイン、ロング
シュートなどで追い上げシソー

〔大分選抜〕26
〔戦評〕立ち上がりは単調な攻め
に対し、逆速攻で4-1と愛知リ
ードでスタートしたが、15分頃か
ら大分は萩本の速攻、サイドシュ
ートと伊南のカットイン、ロング
シュートなどで追い上げシソー

〔大分選抜〕26
〔戦評〕立ち上がりは単調な攻め
に対し、逆速攻で4-1と愛知リ
ードでスタートしたが、15分頃か
ら大分は萩本の速攻、サイドシュ
ートと伊南のカットイン、ロング
シュートなどで追い上げシソー

〔大分選抜〕26
〔戦評〕立ち上がりは単調な攻め
に対し、逆速攻で4-1と愛知リ
ードでスタートしたが、15分頃か
ら大分は萩本の速攻、サイドシュ
ートと伊南のカットイン、ロング
シュートなどで追い上げシソー

〔大分選抜〕26
〔戦評〕立ち上がりは単調な攻め
に対し、逆速攻で4-1と愛知リ
ードでスタートしたが、15分頃か
ら大分は萩本の速攻、サイドシュ
ートと伊南のカットイン、ロング
シュートなどで追い上げシソー

〔大分選抜〕26
〔戦評〕立ち上がりは単調な攻め
に対し、逆速攻で4-1と愛知リ
ードでスタートしたが、15分頃か
ら大分は萩本の速攻、サイドシュ
ートと伊南のカットイン、ロング
シュートなどで追い上げシソー

〔大分選抜〕26
〔戦評〕立ち上がりは単調な攻め
に対し、逆速攻で4-1と愛知リ
ードでスタートしたが、15分頃か
ら大分は萩本の速攻、サイドシュ
ートと伊南のカットイン、ロング
シュートなどで追い上げシソー

〔大分選抜〕26
〔戦評〕立ち上がりは単調な攻め
に対し、逆速攻で4-1と愛知リ
ードでスタートしたが、15分頃か
ら大分は萩本の速攻、サイドシュ
ートと伊南のカットイン、ロング
シュートなどで追い上げシソー

ゲームとなる。愛知も井上のサイドシュートなどでふんばり14-14で折り返した。後半は、大分ディフェンスの集中力が欠けたところを一気に攻めた愛知が中盤までに24-16とリードを広げた。対する大分もGK藤内の好守に助けられ反撃に出て3点差まで詰めよったが、ツメのシュートミスが目立った大分であった。

得005333001707
分内島藤田野下藤村南沢本
〔大藤中後後河竹工島伊藤萩〕

G K F P (審・高橋山)

〔高橋杉橋近梅久岸井 樋難〕
得00533006133615

千葉 26 1214 178 25 山口
〔千葉選抜〕

〔戦評〕千葉・平松、山口・藤井の両GKの好守が光るゲームであった。前半千葉は速攻、セットと多彩な攻撃で14-8のリードで折

得000000245842
山口 田山末野本田木中川
〔藤守丸藤森山石青弘森 南〕

G K F P (審・阿部羅)

〔業〕松田田鐘名田田田沼木鍋島
〔千平富仲大飯澤寺太菅佐川福〕
得006152005322

26 (2) P T

り返す。後半に入っても千葉ペースであったが、10分過ぎから速攻が出だした山口にリズムが出て、21分には22-20で2点差まで追いつける。その後も1点が争う好ゲームとなったが、千葉が若い山口をかわらうじて振り切った。

得0004320422321
兵藤野岡園内田井本原田口土
〔近狩松西竹保今森上藤寺富〕

G K F P (審・中川)

〔戦評〕前半出しから1点を争う好ゲームとなった。若手中心のパームヒルズはスピードのある速攻やセットプレーから得点し、ペタランの多いスワロー兵庫は落ち着いたプレーから得点を重ねた。後半に入り、パームヒルズはスピードが衰ろえず速い攻撃から得点を加えて差を徐々に広げた。一方スワロー兵庫もセットから多彩なプレーで反撃したが及ばなかった。

得00091632080004
沖我吉神興長与上下南大島
〔安我吉神興長与上下南大島〕

G K F P (審・中川)

〔全岡山〕 32 1418 128 20 富山
〔戦評〕前半立ち上がり、岡山は富山のディフェンスの甘さもありません、ミドル、カットイン、ボ

得00091632080004
沖我吉神興長与上下南大島
〔安我吉神興長与上下南大島〕

33 (1) P T

ストなど多彩な攻撃で試合の主導権を握る。これに対し富山も速い動きでカットインや速攻などで食い下がる。そして、岡山の2回退場者が出るチャンスがあったが富山のシュートミスや岡山のGKの好守などにより、人数の少ない岡山がリードを広げ18-8と大量リードで前半を折り返した。後半に入っても、富山は大切な所でノーマークシュートははずすなど、チャンスがありながらリズムをつかむ事が出来ず、結局前半の大量リードで全岡山が32-20で勝ちを収め2回戦に進出した。

得00061173101010
山戸口井西野本前坪川上口
〔富山〕
古坂吉小上山徳小古樋山

G K F P (審・北島村)

〔茨城〕 39 1920 1412 26 北海道
〔戦評〕お互いにロングシュートのないチームで、北海道はポストシュートを主体に、茨城はパスカットからの速攻、吉井のサイドシュートなどで得点、互いに点の取り合いとなったが、攻撃力に勝る茨城が20-12と前半を大きくリードして折り返した。

得00035542103000
岡堀 須小大小石同石中山赤丸

G K F P (審・北島村)

〔愛媛〕 21 1011 119 20 岩手
〔戦評〕両チームともポストプレーを巧みに使って展開を作り、プレー自体が細かいものになりパスミスが多く相手ミスからの速攻でほぼ互角に戦っていたが、愛媛GKの好守にあい前半は11-9愛媛2点リードで終了。後半に入り、ムードのいい愛媛は相手ミスから速攻につなぎ、得点を広げようとするが岩手のGKの好守に阻まれるリズムを崩し始めた。一進一退の

得0002201010158
手池木田藤崎橋藤村葉池庭上
〔岩手〕
〔菊佐三工官高工田千菊櫻村〕

20 (1) P T

後半も、まんべんなく得点をあげた茨城が、終盤粘る北海道を突き放して勝利を収めた。

得000123146303033
海道谷藤本官益 橋下村浦川井
〔河佐松三福 表 大樹川三及荒〕

G K F P (審・小笠原)

〔茨城〕 39 034475808
城田 田輪保山井川川鳥沢
〔安三宜横吉長滝小海〕

〔愛媛〕 21 1011 119 20 岩手
〔戦評〕両チームともポストプレーを巧みに使って展開を作り、プレー自体が細かいものになりパスミスが多く相手ミスからの速攻でほぼ互角に戦っていたが、愛媛GKの好守にあい前半は11-9愛媛2点リードで終了。後半に入り、ムードのいい愛媛は相手ミスから速攻につなぎ、得点を広げようとするが岩手のGKの好守に阻まれるリズムを崩し始めた。一進一退の

G K F P (審・大島村)

得006050103551
大先田和作白壺長内野萬
〔岡田中田道石内野山本屋〕

21 (1) P T

“まごころのおつきあい”が私たちのモットーです。



あなたの銀行

北國銀行

本店
石川県金沢市下提町
店舗
石川、富山、福井、東京、
大阪、名古屋、京都133ヶ店
事務所
ニューヨーク

攻防の中落ち着いた攻撃をした愛媛が1点差で岩手を下した。

福岡 25 [1213 | 1212] 24 滋賀 (全福岡)

〔戦評〕福岡がロング、カットインでリードするが、滋賀は両サイドで入れかえす互角の立ち上がり。その後も福岡は滋賀のゆっくりしたペースにディフェンスがなかなかかみ合わず、守りきれないまま前半はやつと1点リードで折り返す。後半に入り、滋賀はロング、サイド、ポスト、スカイプレーと多彩な攻撃を見せ終始リード。福岡は残り4分ですつとリードするが滋賀はすかさずサイドで入れ返し粘りを見せる。最後はペナルティーを福岡が得て逃げ切ったが、滋賀の健闘が大いに光った試合だった。

得0011782201111
賀田山田藤波上田野山根尾内
〔滋石松位伊能井武大橋山西山〕

G K F P (審・浜田) (小笠原) P T
〔崎山熊水 中島唐山 田浜 福篠森仁清 田中浦中 高白 得0054423141122〕

愛知 37 [2116 | 1316] 29 山形

〔戦評〕前半立ち上がり、東根クはカットイン、ポスト、ロングと

多彩な攻撃で得点を重ね4点リードする。これに対し日本電装もだんだんリズムがでてきて速い攻撃で東根のディフェンスを崩し得点し、20分経過したところで逆転し、東根に2点リードするが、東根も粘り残り7秒で同点に追いつき16分前半を折り返す。後半立ち上がり、日本電装は退場者を出しピンチを迎えるが、東根のミスから逆速攻で得点を重ね5点差までリードを広げる。東根もサウスポ

ー小沢のロングシュートで食い下がるが18分で東根は退場者を出しこの間にリードを6点差まで広げる。結局相手ミスから着実に得点を重ねた日本電装が37-9で勝ち進決勝に進出した。

得0020411002010
山納藤部藤沢山林平山藤
〔山仲加齊水佐小奥小赤大佐〕

G K F P (審・古富) (赤地) P T
〔橋山村本藤井本田上 口波 愛高福杉橋近梅久岸井 樋難 得0078104038006〕

沖繩 25 [1114 | 149] 23 千葉

〔戦評〕立ち上がり、沖繩はサイド、ミドル、ステップなど多彩に攻めペースをつかむ。5分過ぎ千葉も速攻、ポストで追い上げるが沖繩G K我謝の再三の好守と下地の8得点をあげる頑張りで14-9

沖繩リードで前半を終了。後半に入っても沖繩ペースでゲームは進行し25-23沖繩の勝利。沖繩G K我謝の好守が光るゲームであった。

得00100021005752
葉松田田鐘名田田田沼木鍋島
〔千平富仲大飯澤寺太菅佐川福〕

G K F P (審・浜田) (小笠原) P T

〔名謝浜根岡田儀原地原城装 沖慶 宗 風 得005001420120001〕

岡山 37 [2017 | 1310] 23 茨城

〔戦評〕前半、岡山ペースで展開14分まで5点差であったのを茨城は17分過ぎ3点差までつめよる。しかし、岡山はG K堀の好守と小橋の闘志あふれるプレーで5点連取し、一気につき離して17-10で折り返す。後半は2分過ぎで20-10と着がつき岡山にとっては楽な展開となった。茨城は岡山・中塚にマンツーマンでつくなど何んと

得010413774003
城田 田輪保山井井川川島沢
〔茨横 安三宜横吉長浦小海 老 得00551314405013〕

G K F P (審・南城) P T

〔田池森橋原前原塚本木川 山堀 須小大小石同石中山赤丸 得00551314405013〕

か挽回しようとするが、功を奏さず37-23という大差で終了した。

福岡 43 [2221 | 119] 20 愛媛

〔戦評〕ディフェンスの壁の高い福岡に対し、ポスト、カットインでどうにか壁を破り得点しようとするが、パスミスにより福岡は速攻を中心として得点を積み重ね、福岡は圧倒的な強さで前半を終了。後半に入っても福岡のペースは衰えることもなく得点を広げた。しかしながら最後まで粘り強く攻めた愛媛の健闘をたたえたい。

得0060411112223
媛岡田中田道石内野山木屋
〔愛大先田和作白壺長内野萬〕

G K F P (審・古富) (赤地) P T

〔崎山熊水 中島唐山 田浜 福篠森仁清 田中浦中 高白 得00333543395371〕

沖繩 30 [1614 | 1011] 21 愛知

〔戦評〕前半2分、愛知・井上の速攻で先行するが沖繩も鳥袋のロングで追いつく、10分過ぎまで両チームともに堅さがとれずミスが目立った。その後、愛知が先行するが沖繩・仲宗根のロングカットインなどで前半は14-11沖繩の3

点リードで折り返す。後半は沖繩G Kの好守からの速攻が決まりだし、徐々に点差を広げ30-21で沖繩が勝利した。結果的には沖繩の快勝であったが両チームともによく走る好チームであった。

得0020002223631
知橋山村本藤井本田上 口波
〔高福杉橋近梅久岸井 樋難 得0025142432334〕

G K F P (審・大和) (鈴木) P T

〔名謝浜根岡田儀原地原城袋 沖慶 宗 風 得0026741080002〕

福岡 30 [1416 | 134] 17 岡山

〔戦評〕前半開始早々、福岡が岡山のミスから速攻で2点を連取、その後も福岡は、速攻や中山のロングを中心とした攻めで着実に得点を重ねていった。岡山もポスト、サイドからの攻撃を試みるが、ミスが目立ち、シュートも福岡のG K篠崎の好守に阻まれなかなか得

得004311024002
山田池森橋原前原塚本木川
〔岡堀 須小大小石同石中山赤丸 得0025142432334〕

G K F P (審・川島) (森) P T

〔崎山熊水 中島唐山 田浜 福篠森仁清 田中浦中 高白 得0025142432334〕

点することが出来ず福岡のペースで試合は進行、後半は岡山もリズムを取り戻したが、結局、福岡が前半のリードを守り切って勝利を収めた。

3位決定戦

愛知 26 (131 | 112) 23 岡山

〔戦評〕愛知の日本電装は笠を軸にした攻撃で3点連取し好調なスタートをしたかに見えたが、途中攻撃が雑になったところを岡山の連攻を許し、その上反則退場という最悪のパターンを招いた。岡山は愛知のリズムの崩れに乗じて速攻で連取し、いったんはリードしたが、リズムを取り戻した愛知・笠のミドルシュートなどで1点リードで前半を終る。後半は愛知のGK福山の好守が光かり、接戦ながら愛知が勝利を手中にした。

得点 0 0 4 3 6 0 2 0 8 0 0 0
 岡山 田池森橋原原塚本木川
 岡堀 須小大小石岡石中山赤丸
 GK (審・南城)
 得点 0 0 6 0 1 3 2 3 1 7 3
 愛知 橋山村本藤井本田上 笠 口
 高福杉橋近梅久岸井 樋
 26 (5) PT (8) 23

決勝

福岡 29 (1514 | 1312) 25 沖繩

〔戦評〕福岡、沖繩ともに学生を主体とした構成で、どこからでも得点できる穴のない両チーム、緊迫した中にもキビキビした動きで好ゲームが期待された。期待通り前半から両チームとも率のない攻防でミドルシュート、ポストプレー、スカイプレー、速攻などを駆使し、お互いに見せ場をつくる内容で、決勝戦にふさわしいハンド

成年女子

1回戦

広島 25 (1213 | 116) 17 秋田

〔戦評〕前半立ち上がりから地方に勝る広島が速攻やセット攻撃など多彩な攻撃を見せて優位に試合を進める。

得点 0 0 1 2 5 0 2 6 1 0
 秋田 木勇橋田藤沢田川本磨
 秋草高高低長千今松高
 GK (審・南城)
 得点 0 0 2 1 0 8 6 0 0 2 5 1
 岡山 岡本本木本本田田田宅 楠
 岡山 永山松水川猫中今鶴三 藤
 25 (0) PT (4) 17

ボールの醍醐味を満喫させてくれるゲームであった。また、審判のさわやかなレフェリングが目についたゲームでもあった。

得点 0 0 7 2 3 4 1 0 8 0 0 0
 沖繩 名謝浜根岡田儀原地原城袋
 安我吉仲奥長与上下南大島

GK (審・小笠原)

得点 0 0 4 2 0 5 2 3 4 4 3 2
 福岡 崎山熊水 中島塘山 田浜
 福岡 篠森仁清 鳥 田中浦中 高白

29 (1) PT (2) 25

後半に入って秋田も今川を中心に互角の展開を見せるが、前半の点差を縮めることはできなかった。

〔戦評〕三重のジャスコ、鹿児島ワリーにあふれたゲームで見応えがた実業団のチーム。スピード、パワー

得点 0 5 0 1 0 4 0 0 1 3
 鹿児島 本山城原 佐郷 山
 鹿古 藤平大桑 林 飯 安
 GK (審・佐伯)
 得点 0 0 4 4 0 4 0 4 1 1 0 4
 三重 林塚井出村田田井沼永本師
 三重 小大今東松福山川小徳西土
 22 (2) PT (4) 14

あったが、ディフェンスで勝る三重が10-4とリードして前半を終了。

後半も1点を争う激しい攻防が続くが、体力の差が出たのか、三重が前半のリードを守ってそのまま逃げ切った。

東京 27 (1710 | 177) 14 新潟

〔戦評〕新潟(新潟江南OG)のミスが目立ち、東京(JUKI)が逆速攻で得点を重ね、10-7と3点をリードして前半を終了。後半、東京は足を使ったディフェンスで新潟の攻撃を許さず、GK久保の再三にわたる好守もあって大きくリードを広げて勝った。

得点 0 3 1 7 1 0 0 0 1 1 0
 新潟 藤泉塚水部井川城林田
 新高 伊古藤清阿宇源結神宇
 GK (審・南城)
 得点 0 0 8 7 0 1 4 0 1 3 1 2
 東京 角塚塚田口中田藤田塚田口
 東京 大久石上樋田飯武羽高吉山
 27 (5) PT (2) 14

〔戦評〕開始3分過ぎ、山口は香川の攻めの甘さを速攻につないでペースをつかみ、サイド、ポストと連続加点した。一方10分過ぎまで得点のなかった香川は、笠井のロングシュートをきつかけにボス

新しい時代を作ってゆくのは、
 新しいひらめき。
 そして、ひらめきを実現してくれる
 素材が求められます。
 常に新しい技術で新しい夢をかなえる
 素材をお届けしてきた日新製鋼。
 これからも時代に応える
 新しい素材をみつめてゆきます。



明日の素材をみつめる
日新製鋼
 東京都千代田区丸の内3-4-1
 (新国際ビル) ☎03-216-5511 〒100

ト、連攻で追い上げるが、14-9と山口がリードして前半を終了。後半開始早々、香川・笠井のカットインでペースをつかみ、17分過ぎ2点差まで追いつくが、山口・森本の退場時に得点できず、終盤に山口に突き放された。

得0007233100010
川田西本井佐野 田山田山江
藤大谷笠末河 多宇字入溝

山口村嶋田田嶋村沢崎本弘田本
山野中飯石中中国三山未植森
得005061040006

栃木 28 (1612-14) 7兵 庫
〔自立栃木〕

〔戦評〕立ち上がりお互いに固さが目立ち互角のゲーム展開となったが、栃木・飯塚のミドルシュートを中心に得点を重ね、12-4と大きくリードして前半を終了した。後半に入り、オフエンス、ディフェンスとも安定している栃木の

得00100003210000
庫蔵西馬杉上原倉田水野里尾
〔兵〕 大有若尾久小原若磯中中

G K F P (審・阿部羅) (濱野)

得0〔栃木〕 鶴永長田塚苗来井 堤 田
〔梅津〕 吉神柳柳飯尾市新 貴
101666233522

ペースでゲームが進む。兵庫も有馬を中心に攻めるが、栃木の堅い守りに攻め切れず、地方に勝る栃木が28-7で勝利を納めた。

大分 26 (115-17) 12 北海道
〔天分選抜〕

〔戦評〕立ち上がり5分頃まで両チームとも走り、お互いに得点を許さなかったが、10分過ぎから大分の落ち着いたボールまわしでコンビネーションプレーや速攻などで得点を重ねた。一方北海道もGKを中心によく守っていた。

後半に入っても大分の円熟味のあるコンビネーションで差を広げた。北海道は、後半足の止まった大分ディフェンスを左右にふり積極的に反撃したがおよばなかった。

得0 100012302003
北海道 木川馬本藤歌藤田田本
〔白〕 佐長相藤佐和加武鎌山

G K F P (審・山本)

得0 0011553400061
分都 谷藤尾田代野村部田田岡
〔大〕 土須吉矢三紀島阿祖太福

2回戦 1013-17 15 広 島

〔天崎電気〕 立ち上がり、埼玉は速攻で4-0とリードする。広島は埼玉の荒いディフェンスによる退場のスキをつき、巧技で食いがり

17分過ぎには7-6と逆にリードした。しかし、スピードに勝る埼玉が得点を重ね13-8で前半を終了。

後半、広島はムード良くすべり出し、11-13まで追いつがるが、徐々にスタミナを消耗し、差が開く。埼玉の順当勝ちではあるが、広島は健闘を称えたい。

得000000700152
島岡本本木本本田田田宅 岡
〔広〕 永山松水川猫中今鶴三 藤

G K F P (審・四宮)

得0062220640300
〔福〕 片田谷井原川原口宮田中井
〔全福岡〕 22 (1210-113) 14 山形
〔福〕 宗太伝藤杉前梅江鷲野田福

〔戦評〕福岡は開催地だけあって気合が入っており、GKの上野が守り、サイドの小林が速攻に出て得点を重ねていった。逆に山形は

〔山形〕 藤橋野田高田木田野池根木
〔後〕 高新新小本青武瀬小中鈴

G K F P (審・赤地)

得004413331054110
〔福〕 野馬田中中澤田 村林松本
〔岡〕 上竹藪田田長石 藤 内小並宮

粘りのあるディフェンスを見せてくれたが、後半に入っても内村のロングシュートなどで得点をあげた福岡が勝利を収めた。

大和銀行 21 (1011-5) 12 三 重

〔戦評〕三重のペースで試合が始まり、5分には3-1とリードする。しかし、巽川、丸田のロングシュートが確実に決まりだした大阪が10分には5-4と逆転、その後単調な攻撃に対し大阪は早い動きで加点し、前半は11-7で終了。

後半に入っても大阪はロングシュート、速攻と差を広げ、粘る三重をふり切った。

得000010234410001
〔三〕 小林塚井出村田田井沼永本師
〔重〕 小大今東松福山川小徳西土


〔阪〕 見田池川川村田田辺田口瀬吉
〔大〕 増岡小瀬髪上松渡丸西木又

G K F P (審・佐四宮)


得005522331151110
〔京〕 都 16 (9-12) 11 東 京
〔京〕 前平、京都は前に出る積極的なディフェンスを見せたが、東京は石塚のロング、吉田のカッ

ぎまでに6-2と差を広げた。京都も藤田の好リードから中尾のポストプレーなどで徐々に追いつ

スポーツマンのベストコンディションをお約束する、シャンピアホテル。



名古屋シャンピアホテル
〒460 名古屋市中区錦2-20-5 代表 ☎052(203)5858
●交通 地下鉄東山線伏見駅より東へ徒歩5分
地下鉄東山線栄駅より西へ徒歩8分 タクシーは名古屋駅より8分



大阪シャンピアホテル
〒530 大阪市北区南扇町6-23 代表 ☎06(312)5151
●交通 新幹線大阪駅からタクシーで10分
大阪空港からタクシーで20分(阪神高速) 大阪駅から扇町まで徒歩12分

●料金(税込)

シングルA	7,000円
シングルB	7,600円
ダブル・ツイン	13,400円
トリプル	17,000円
ファミリー	20,600円
和室	17,000円

●料金(税込)

シングルA	6,690円
シングルB	6,840円
シングルC	7,050円
ダブル	9,570円
デラックスダブル	12,870円
ツイン	11,940円

●設備のご案内 ●ミーティングルーム ●全自動洗濯機 ●乾燥機設置 ●VHSビデオ設置

●赤坂シャンピアホテル ●青山シャンピアホテル ●防府シャンピアホテル ●姉妹ホテル KOLON HOTEL 韓国・慶州(キョンジュ市) 東京事務所(03)586-7571

9-7で前半を折り返す。

後半に入り、京都・藤田のロングが決まりだし、また酒井の速攻などで8分に11-11の同点となる。その後一進一退の攻防を展開するが、追い上げて好ムードとなった京都が着実に加点し、16-11で京都の逆転勝利となった。

得0003211101020
京角保塚田口中藤田塚田口
〔東大久石上樋田飯武羽高吉山〕

G K F P (審・古富) (赤地) P T (2) 11

〔添本野上尾田辺井橋 田家〕
〔京畑山天池中藤渡酒小 多福〕
得0000222600240000

熊本 26 (1610 | 78) 15 山 口

〔戦評〕開始早々、山口はオムロンのパスの乱れを速攻につなぎ先取点をあげる。オムロンもすかさずフリースローで得点、山口は速攻とステップシュート、オムロンはロングシュート、フリースローで一進一退の攻防になるが、16分過ぎオムロンの速攻が決まりペースをつかむかに見えたが、山口もGKの好守で追い上げ10-8オムロンリードで前半終了。後半に入ると両チームの攻めのパターンが逆になり、15分過ぎオムロンは山口をつき離れた。山口GKの好守が光る好ゲームであった。

〔山野中石中国三山末植森〕
〔川島田村山津利嘉本村田田〕
〔熊前川横西中武毛比坂石古吉〕
得002457003003200

G K F P (審・山谷) (山本) P T (1) 15

〔北国銀行〕前半、両チームともシュートミスが目立ち互角の立ち上がりとなった。北国銀行が速攻からの得点を重ね、日立栃木も応戦し徐々に力を発揮していったが、前半11-8北国銀行リードで折り返した。後半に入り、両チームとも互角のゲーム展開で攻め、守りとも緊迫したゲームが続く。結局、前半リードした北国銀行が粘る日立栃木を振り切り21-17で北国銀行が勝利を収めた。

石川 21 (1011 | 98) 17 栃 木

〔戦評〕前半、両チームともシュートミスが目立ち互角の立ち上がりとなった。北国銀行が速攻からの得点を重ね、日立栃木も応戦し徐々に力を発揮していったが、前半11-8北国銀行リードで折り返した。後半に入り、両チームとも互角のゲーム展開で攻め、守りとも緊迫したゲームが続く。結局、前半リードした北国銀行が粘る日立栃木を振り切り21-17で北国銀行が勝利を収めた。

〔木古上矢丹松 堀 松松北谷 森〕
〔石戸澤田野後田 山下川本 本〕
得00223150000217

G K F P (審・大南) (城) P T (1) 21

〔栃梅 吉神神柳飯尾市新 貴〕
〔木津 嶋永長田塚苗来井 田〕
〔得0 21033404300〕

〔愛知 22 (1111 | 55) 10 宮 城〕
〔ラザル〕前半15分頃までは互角のゲーム展開、その後、宮城のディフェンスの甘さから、愛知の荒木、松尾のカットインシュートや速攻が決まり出し点差が開いて前半終了。後半、愛知のスビードに宮城はついていけず速攻がビシビシ決まる。宮城もゲームをあきらめず最後まで頑張るが、スビードとパワーに勝る愛知が逃げ切る。

〔宮城今鈴今大大木佐桜片佐小〕
〔山野木野沼友下藤井倉藤山〕
得0010102000330

G K F P (審・山谷) (山本) P T (2) 10

〔知本住木中 田江尾藤斐木中〕
〔愛岡西荒畑 野藤松進甲高田〕
得0070002333400

山梨 32 (1814 | 107) 17 大 分

〔戦評〕立ち上がり両チームとも堅さが見られたが、シャトルレーゼが大分のミスより逆速攻で得点を重ねる。大分の相手が大型チームの為、ステップシュートのみで、得点を重ねることができなく14-7で前半終了。後半もシャトルレーゼは速攻、フェイントシュートと得点を重ねる。大分がディフェンスでの無理が生じ、シャトルレーゼにペナルティーで多くの得点をあ

〔梨 木藤松保道沢沢林寺崎方田〕
〔山鈴工小海松野小野 野〕
〔得0 003311220040225〕

G K F P (審・大南) (城) P T (2) 17

〔大分 00000342220132〕
〔谷藤尾田代野村部田田岡〕
〔土須吉矢三紀島阿祖太福〕

3回戦 517 (98 | 68) 14 福 岡

〔戦評〕前半、同点の得点が示すようにお互いに持ち味を出したゲーム内容であった。埼玉は相手ミスをから率のない攻撃を展開、福岡はミドルシュートを駆使し、見応えのある攻防となった。後半も一進一退の内容で20分まで14-14の同点、しかし、最後疲れの見えた福岡に対して、埼玉がPTを含む連続得点で辛くも逃げ切った。

〔福野馬田中中沢田 村林木本〕
〔福上竹藪田田長石 内小並宮〕
得00103000451100

G K F P (審・川島) (森) P T (2) 14

〔片山谷井原川原口宮田中井〕
〔王宗太伝藤杉前梅江鷲野田福〕
〔得0 002029202000〕

〔大阪 24 (1212 | 93) 12 京 都〕
〔戦評〕前半、10分過ぎまで両チームに堅さが見られたが、大阪が持ち前の力を発揮し始め着実に加点し、前半で勝負を決める。京都もGKの好守で最後まで試合を捨てず大阪を苦しめた。京都の奮闘をたたえたい。

〔京畑山矢池中藤渡酒小 多福〕
〔添本野上尾田辺井橋 田家〕
得001010162101000

G K F P (審・大和) (鈴木) P T (5) 12

〔熊本 28 (1018 | 116) 17 石 川〕
〔戦評〕オムロン、北国銀行と日本リーグ一部同士の試合となり白熱したゲームを期待したが、地力に勝るオムロンが開始15分過ぎから多彩な攻撃で連続12得点し前半

〔石戸澤田野後田 山下川本 森〕
〔木古上矢丹松 堀 松松北谷 森〕
得001112400040005

G K F P (審・川島) (森) P T (3) 17

〔川戸澤田野後田 山下川本 森〕
〔石木古上矢丹松 堀 松松北谷 森〕
得001112400040005

〔熊前川横西中武毛比坂石古吉〕
〔得0 002448007003000〕

18―6で終る。後半は北国銀行もよく走り、五角のゲームをしたが28―17でオムロンが圧勝した。

山 梨 23 [914 | 137] 20 愛 知

〔戦評〕ポスト、ロング、PTと3連取と好スタートをきったシャトレレーゼは、多彩なコンビプレーで主導権を振り、ダブルスコアでブラザーを押しこんだ。後半に入って、ブラザーに速攻が出はじめ、さらにはステップ、サイドのシュートが決まり出し3点差まで追い上げたが、要所でシャトレレーゼ・海道にPT、ロングを決められた。やっとラスト3分で2点差としたが痛恨のPTミス、あと一歩及ばなかった。

得0040400313345000	知本住木中原	田江尾藤斐木中	20
〔愛〕岡西荒畑	野藤松進甲高田		(2)
G K	F P	〔審・鈴木和〕	
〔山〕木藤松保道沢沢林寺崎方田	梨		
〔山〕鈴工小小梅松野小嶋生合	梨		
得0003210400030010			23 (2) P T

準決勝

埼玉 18 [108 | 19] 17 大 阪

〔戦評〕前半20分までは大阪が堅い守りで8―4とリードするも、埼玉も徐々にペースをつかみ梅原の3連続PTなどで追い上げ、前

半は9―8大阪リードで終る。後半も中は過ぎまでは一進一退であったが、16分大阪・渡辺の退場の間に初めて埼玉がリードを奪い、その後ペースをつかみ終了間際の大阪の追い上げをかわし1点差で逃げ切った。

得003030623110001	阪見田池川川村田辺田口瀬吉	17
〔大〕増岡小瀬袋上松渡丸西木又		(0)
G K	F P	〔審・阿部羅 浜野〕
〔山〕片田谷井原川原口宮田中井	梨	
〔山〕宗太伝藤杉前梅江鷲野田福	梨	
得00002020284002000		18 (3) P T

熊本 23 [1310 | 97] 16 山 梨

〔戦評〕前半立ち上がり、シャトレレーゼはテンポの良い攻撃で3―1とリードするが、オムロンもだんだんリズムをつかみ食い下がる。一進一退の攻防が続くがシャトレレーゼが2本たて続けにPTをはずすとチーム全体に少しずつ元気がなくなり、逆にオムロンが抜け出し10―7で前半を折り返す。後半立ち上がりは、相手に退場者が出たこともあり、リズムの良い攻撃でシャトレレーゼが3連続得点で追いつき、この後両チームに退場者が出て一進一退が続く。シャトレレーゼは3本目のPTをはずしオムロンに退場者が出るが、オムロンの動きが良くなり積極的に攻め、

残り7分で5点のリードをつける。この後両チームとも得点するが、動きの積極さに勝るオムロンが23―16でシャトレレーゼをしりぞけ決勝に進出した。

得005154401000000	梨木藤松保道沢沢林寺崎方田	16
〔山〕鈴工小小海松野小嶋生合		(2)
G K	F P	〔審・古富 赤地〕
〔山〕川島田村山津利嘉本村田田	梨	
〔山〕熊前川横西中武毛比坂石古吉	梨	
得00025006004005100		23 (0) P T

3位決定戦

山 梨 18 [108 | 9] 16 大 阪

〔戦評〕大阪(大和銀行)、山梨(シャトレレーゼ)と日本リーグ一部同士の試合、立ち上がり、山梨がサイド、ポストで先攻、大阪もエース丸田のロング、速攻と15分で5―5の互角の展開、ここで山梨エース海道が負傷退場、これか

ら両チームなかなか点が入らず8―7と山梨リードで前半終了。後半開始、大阪がミドルで同点とするが、山梨が相手一人退場の間に速いパスワークからずらして確実に得点しペースをつかみ、15分で16―10とリードしそのまま逃げ切った。

得000102544030000	玉片田谷井原川原口宮田中井	15
〔玉〕宗太伝藤杉前梅江鷲野田福		(5)
G K	F P	〔審・高橋 山〕
〔山〕川島田村山津利嘉本村田田	梨	
〔山〕熊前川横西中武毛比坂石古吉	梨	
得000128512003200		24 (2) P T

熊本 24 [1410 | 69] 15 埼 玉

〔戦評〕埼玉(大崎電気)、熊本(オムロン)の決勝戦。立ち上がり両チームともやや堅さが見られたが、相譲らず前半10―9と熊本1点リードで終了。後半は開始から両チームとも動きがよくなり決

決勝

少年男子

一回戦

山口 28 [1315 | 74] 11 兵 庫

〔戦評〕前半2分兵庫は相手ミスよりカットインシュートで2点先取。5分間得点できなかつた山口、5分後縦の速攻から横へのパス、広政のロングシュート、高杉のカットインシュート、湯浅のポストシュートが8連続決まり、さすがインターハイ勝者の貫録を見せつけた。兵庫はせっかくなのシュートチャンスをあせりのためか、ミスで生かせなかつたのが惜しまれる。

勝戦にふさわしい白熱した展開となった。10分過ぎ熊本は相手ミスから速攻を確実に得点し、ペースをつかみ連続5得点、埼玉もGK宗片の好守、長身梅原のロングで必死にがんばるが、熊本のペースをかえることが出来ず、9点差で熊本が6年ぶりの優勝をはたした。

得000102544030000	玉片田谷井原川原口宮田中井	15
〔玉〕宗太伝藤杉前梅江鷲野田福		(5)
G K	F P	〔審・高橋 山〕
〔山〕川島田村山津利嘉本村田田	梨	
〔山〕熊前川横西中武毛比坂石古吉	梨	
得000128512003200		24 (2) P T

熊本 24 [1410 | 69] 15 埼 玉

〔戦評〕立ち上がり、一進一退の攻防が続く、東京が小笠原のロングで先行するが、大分はすかさず

得002001000120014	兵庫所井藤武本井住井辺崎泉	11
〔兵〕税土伊碓松平土吉桜田宮小		(2)
G K	F P	〔審・川島 森〕
〔山〕山原浅風水内杉妙政曾野村	梨	
〔山〕山亀荻湯北清河高市広木森吉	梨	
得000402007190050		28 (4) P T

大分 26 [1313 | 1010] 20 東 京

〔戦評〕立ち上がり、一進一退の攻防が続く、東京が小笠原のロングで先行するが、大分はすかさず

エース穴井のステップシュートで追いつく。その後大分はロングにサイドをからめた徹底したセット攻撃に対し、東京はセット、速攻と全員がよく走り早い展開で応戦前半大分が3点リードで終了。後半に入って、大分のロングが要所所で決まり有利試合を進める。しかし、東京もロング、速攻で粘り強く反撃、点差の開かないゲームになった。最後は大分のセット攻撃、特に穴井に対するマークが甘くなった所を決められた分東京は追いつけなかった。

得0002010326006
東京 山林藤沢藤代井橋本井村原
〔東〕 梶小佐島芹田高山増岡小

G K F P (審・大和) P T (2) 20

〔分〕 原田部寺上江藤村浦井野藤
〔大〕 鶴増渡葉井入工宇楠穴津衛
得000440214114000

岐 阜 23 (149-126) 18 青 森
〔岐阜選抜〕 岐阜、青森両チームとも

〔戦評〕 岐阜、青森両チームともよく走るチームで高校生らしい好チームである。しかし、お互いに前半は堅さがとれずパスミス、シュートミスなどで連続した。終始岐阜リードで展開し、後半残り4分、いったんは青森が同点したが青森の守りのミスから最後点差が開いた。チーム力は互角であったがやや岐阜ペースであった。

得007105202010
森 木利藤谷屋野村木田元田口
〔青〕 鈴浅佐高名牧岡佐酒穂福山

G K F P (審・川島) P T (1) 18

〔早〕 辺曾藤山田原川田藤中水
〔岐〕 渡小近杉栗上長富加田清林
得00021526004003

福 岡 27 (1413-136) 北海道
〔全福岡〕 全福岡立ち上がりサイド

〔戦評〕 全福岡立ち上がりサイドシュートで先制。その後も攻めあぐむ北海道のパス、シュートミスからの逆速攻で5分後3-0で全福岡リード。その後も全福岡は巧みなセットプレー(カッティン、ポストプレー)で15分9-3とリードを広げたが、北海道も粘って左腕渡部の速攻、カッティンで9-5と迫ったが、ツメが甘く13-6福岡リードで前半を折り返した。後半は全福岡3点連取し16-6の大量リード、その後も堅いディフェンスからの逆速攻で着々と加点

得0022410020000
北海道 木巻部谷澤椋西山井妻口木
〔北〕 鈴藤渡納高小浜神石新谷佐

G K F P (審・浜田) P T (3) 9

〔岡〕 根本賀 中田留島崎山口村
〔福〕 坪宮古 柳 比 比
得00100334611342

G K F P (審・小笠原) P T (2) 27

し、27-9の一方的な展開で終えた。北海道の基本的なパス、キヤッチミスが目立った。

〔愛知選抜〕 21 (1110-159) 14 大 阪
〔戦評〕 立ち上がり、両チームともシュートミスが目立ち、攻めあぐむが、愛知は藤下、林のロングシュートで得点する。一方、大阪はフェイントからのカッティンシュート、サイドシュートで得点し一進一退、中盤速攻を確実に得点につなげた愛知が10-9の1点差で前半を終了した。後半、愛知は山崎のロングシュートなどで4連続得点し差を広げる。大阪も必死にロングシュート、速攻で対抗するがGKの好守にあい、完全に愛知ペースの試合となる。その後も愛知は速攻、カッティンシュートを確実に加点し、大阪を21-14で下した。

得0012211405000
阪 端谷野原瀬村山橋口鳥地喜久
〔大〕 福福登市中市下高水白加中

G K F P (審・松島) P T (1) 14

〔知〕 林原田村田野崎下本 山 林
〔小〕 小日丸中柴久山藤島 中 林
得00000500631141

〔埼玉選抜〕 23 (149-189) 17 愛 媛
〔戦評〕 埼玉・吉岡のロングシュートで先取点、相対して愛媛もす

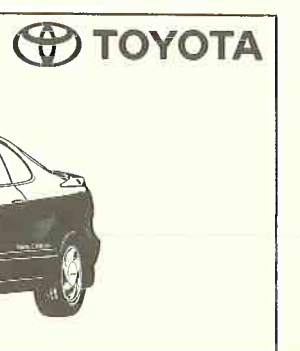
G K F P (審・新莊) P T (3) 21

かさず準のブライインドからのシュートで追いついた。前半はお互いにロングシュート、速攻、ポストシュートなど多彩な攻撃で点を取り合い9-9の同点で終了した。後半に入り、攻撃力に勝る埼玉が着実に加点しゲームの主導権を握った。愛媛も速攻で追い上げたがその点差を縮めるには至らなかった。

得0004003260200
媛 井森戸尾松我 野木金田内
〔愛〕 石大城長高曾 中鈴吉岡田

G K F P (審・小笠原) P T (1) 17

〔熊本〕 熊本 30 (1812-112) 20 富 山
〔戦評〕 前半立ち上がり、富山はサイドからのカッティンやミドルからの得点で5点差とリードするが、熊本も富山のミスなどから速攻による得点で徐々に追い上げ、終了1分前にはダブルスカイで12-12と追いつき前半を折り返す。後半に入ると熊本の動きがよくなり、リードするが富山も食い下がる。しかし、富山は15分に2人、19分に1人退場者を出す間に熊本が7点差とリードを広げ、試合の主導権を握り、その後も速攻などで得点を重ね、結局30-20で熊本



が2回戦に進出した。

得001323300071
山] 昌浦下坂西崎川原谷本谷部
[富井石森藤中宮白河釜石荒安

G K F P (審・新庄)

本] 浦田川崎井鶴田原本崎山満
熊] 西鎌加益永三浜石松岩森米
得003712314243

神奈川 32 [1715 | 8] 11 福島
[横浜商工] (福島選抜)

川は、手渡しパスを巧みから神奈川は、スピードあふれるボール展開から速攻を中心に得点を重ねていった。一方、福岡はスピードに勝る神奈川とは対称的にボール回しが多

くいかず単発攻撃になってしまった。後半になっても、神奈川の勢いあるプレーは変わらず、前半同様相手ミスからの速攻などで一気に得点差を広げ、結局32-11で神奈川が圧勝した。

得000140310020
鳥] 田藤藤郷針藤子幡部吹田
福] 本安佐本小国佐増小岡矢添
G K F P (審・中川)

2回戦

山口 18 [9 | 7] 14 分

〔戦評〕すばらしいコンビプレーで得点し好スタートを切った山口が終始ゲームをリード、中盤宇多村のロングなどで大分が追いかけ

9-7で前半を終る。後半も山口が高杉のロングで先手を取り15分過ぎまで3点リード。ここから大分は猛追し1点差までつめたが、ポストのノーマークをはずして万事休した。

得000003050420
分] 原田部寺上江藤村浦井野藤
大] 鶴渡渡葉井入工宇楠穴津衛
G K F P (審・新庄)

山口 18 (3) P T

〔戦評〕前半は両チームとも速攻セットプレーでシュートははずしていた。岐阜が田中のステツプで先行。福岡はサイドの回しこみで追いつく。しかし、福岡はミドル

サイドなどのシュートがバーに当たり、そのミスにつけこみ岐阜が加点し、前半中盤では3-1で岐阜がリードしていた。先行されて

いた福岡は前半17分に逆転したが、

福岡 18 [12 | 6] 13 岐 阜
〔戦評〕前半は両チームとも速攻セットプレーでシュートははずしていた。岐阜が田中のステツプで先行。福岡はサイドの回しこみで追いつく。しかし、福岡はミドル

サイドなどのシュートがバーに当たり、そのミスにつけこみ岐阜が加点し、前半中盤では3-1で岐阜がリードしていた。先行されていた福岡は前半17分に逆転したが、

前半残り30秒で岐阜が再逆転し前半は7-6で岐阜がリードした。後半開始早々、福岡がミスにつけこみ速攻をかけ逆転、岐阜もロングで対するが、ミスも多く、連続で福岡が速攻をかけ、結局このまま突き離し18-13で福岡が勝利した。

得0000200330401
得] 根本賀 中田留嶋崎山口村
福] 坪宮古 柳 比阿児川肥山中
得001000073610

G K F P (審・川島)

埼玉 24 [1410 | 8] 15 愛知

〔戦評〕立ち上がり、愛知・山崎のロングシュートで先取点、埼玉も上久保のロングで同点。その後一進一退のゲーム展開となるが、埼玉の速攻が随所に見られ、前半は10-7で埼玉がリードして折

得001231520100
知] 林原田村田野崎下本 山 林
〔愛] 小日丸中柴久山藤島 中
G K F P (審・秋庭)

埼玉 24 (3) P T

〔戦評〕前半、熊本の動きの悪い所を横浜4連続速攻でリードするも、熊本10分過ぎから攻撃にスムーズさが出、前半同点で終る。後半にはいると熊本のデIFュンスがよくなり、横浜の攻撃が阻止され熊本のリズムで試合は展開される。熊本の勢いは落ちずそのまま勝利をつかむ。横浜は後半7分頃までGKがノーマークシュートを阻止しがんばっていた時に攻撃にリズムがでさなかつたことが悔まれる。

得000413102020
神] 本西関太後堀高沢中高
奈] 郷辺郷村根川藤川野田村橋
得00360004033114

熊本 22 [1210 | 3] 10 神奈川

返した。後半に入り、埼玉の堅い守りからの速攻やスカイプレーなどで得点を重ねその差を広げていった。結局、24-15で埼玉の快勝だったように思われる。またその影にGKの好守、相手のエースを封じこめたデIFュンスが目についた。

熊本 22 [1210 | 3] 10 神奈川
〔戦評〕前半、熊本の動きの悪い所を横浜4連続速攻でリードするも、熊本10分過ぎから攻撃にスムーズさが出、前半同点で終る。後半にはいると熊本のデIFュンスがよくなり、横浜の攻撃が阻止され熊本のリズムで試合は展開される。熊本の勢いは落ちずそのまま勝利をつかむ。横浜は後半7分頃までGKがノーマークシュートを阻止しがんばっていた時に攻撃にリズムがでさなかつたことが悔まれる。

得000413102020
神] 本西関太後堀高沢中高
奈] 郷辺郷村根川藤川野田村橋
得00360004033114

熊本 22 (0) P T

〔戦評〕前半、熊本の動きの悪い所を横浜4連続速攻でリードするも、熊本10分過ぎから攻撃にスムーズさが出、前半同点で終る。後半にはいると熊本のデIFュンスがよくなり、横浜の攻撃が阻止され熊本のリズムで試合は展開される。熊本の勢いは落ちずそのまま勝利をつかむ。横浜は後半7分頃までGKがノーマークシュートを阻止しがんばっていた時に攻撃にリズムがでさなかつたことが悔まれる。

得000413102020
神] 本西関太後堀高沢中高
奈] 郷辺郷村根川藤川野田村橋
得00360004033114

熊本 22 (0) P T

誰もいないグラウンド、音のない体育館。そこにスポーツという魔法がかかると、一瞬のうちに興奮のつぼと化してしまう。

一瞬のきらめきと 積極果敢な チャレンジャー

セノも誇り高きチャレンジャー。より良質の素材を求め、より精巧な製品を生み出す努力と情熱は、世界中のプレイヤーの額に光る一粒の汗と同じです。

日本ハンドボール協会検定工場

Senoh®

本社 / 東京都千代田区神田司町2-7 ☎(03)292-5411

準決勝

福岡 岡 18 7-16 7-8 2-2 16山 口 2-0

〔戦評〕福岡は一分に先取点、その後GKの好守もあり4-0とリード、14分過ぎから山口が逆に4連取し17分に同点、その後2点ずつとり合い好ゲームとなり、前半終了2秒前に福岡が1点を加え7-6で前半を終了。後半に入り、福岡が先行するも山口もカットイン、ポストで追いつき残り30秒で速攻で1点差とするも、福岡残り4秒で同点とし延長へ。延長も福岡が先行、山口が追う形となったが、福岡のリズムが良く2点差で終了。両チームとも非常にスピードある動きで好ゲームであった。

得0030502060000

〔山〕山原浅風水内杉妙政曾野村

G K F P 〔審・阿部羅〕

〔岡〕根本賀 中田留嶋崎山口村 〔福〕坪宮古 柳 阿比川肥山中 得001140044130

熊 本 19 〔81-11〕 17埼 玉

〔戦評〕立ち上がり、熊本・益崎のロングシュートで2点先取、埼玉も古岡のロングシュートで1点

差、その後、お互いに点を取りあうが熊本の堅い守りから速攻、思いきりのいいサイドシュートなどで前半を11-6で終了した。後半に入り、両チームともミスが目立ち思うように点が入らないゲーム展開となる。残り15分あたりから熊本の攻撃にミスが見られ、埼玉が速攻などで点を詰めていった。残り8分には1点差まで追い上げたが、最終的には熊本の粘りのあるシュートが決まり出し逃げ切った。

得00410034210002

〔玉〕藤賀村川谷保湖部岡池白口 〔埼〕加平田二洪上江阿吉羽山

G K F P 〔審・高橋〕 〔熊〕浦田川崎井鶴田原本崎山満 〔西〕鎌加益永三濱石松岩森米 得00226002052211

山 口 19 〔109-18〕 16埼 玉

3位決定戦

〔戦評〕立ち上がり、埼玉・上久保、山口・広政と両エースの打ち合いが始まり、山口が押し気味であったが、PTなど連続してシュートミスをし逆に埼玉がリードする形で進んだ。前半20分山口は得意な速攻が出だし同点に追いつき、前半は山口が9-8とリードで終了。後半に入り、両チームとも動

きがよくなり5分10-10と同点となったが、その後、山口はロング攻撃、速攻など連続して加点を優位に試合を進め、粘る埼玉を3点差で振り切った。埼玉の健闘が光った。

〔戦評〕前半、互いに固さが見られミスが目立つ。得点はシーソーゲームで6-6の同点で終る。後半もミスで得点は伸びなかったがわずかにリードした宮城が埼玉の二度の退場でペースをつかみ差を

得0021105241010

〔玉〕藤賀村川谷保湖部岡池白口 〔埼〕加平田二洪上江阿吉羽山

G K F P 〔審・高橋〕 〔熊〕本 18 〔117-17〕 11福 岡 〔戦評〕少年男子決勝は、地元福岡対熊本の九州勢の対戦となった。立ち上がり、福岡は川崎のミドル

少年女子

宮 城 14 〔6-6〕 9 埼 玉 〔聖和学園〕 〔8-3〕 〔埼玉選抜〕

〔戦評〕前半、互いに固さが見られミスが目立つ。得点はシーソーゲームで6-6の同点で終る。後半もミスで得点は伸びなかったがわずかにリードした宮城が埼玉の二度の退場でペースをつかみ差を

シユートで先取点、さらに2点追加し好調なすべり出しであった。それに対し熊本も堅いディフェンスからのパスカット、速攻へと結びつけ、残り2分には逆転に成功した。その後、お互いに点を取り合い前半は7-7の対スコアで終了した。後半に入り、熊本は持ち前の足をフルに発揮し、攻めあぐむ福岡のミスを確実に得点に結びつけ、最終的には18-11で快勝した。

得000010101013500

〔岡〕根本賀 中田留嶋崎山口村 〔福〕坪宮古 柳 阿比川肥山中

G K F P 〔審・小笠原〕 〔熊〕浦田川崎井鶴田原本崎山満 〔西〕鎌加益永三濱石松岩森米 得0063300131103301

〔玉〕崎野子村田藤堀藤久上島水 〔埼〕山水浅岩浅伊小斉知三前清

G K F P 〔審・竹村〕 〔城〕司内嶋黒嶋山口樫垣藤倉野 〔宮〕庄今小目三山藤八石佐沼安 得000040233320000

開く。埼玉も何んとか追いつがうとするがミスが重なりつめることができなかった。シュートの決定力の差で勝負がついたようである。

得00611002111102

〔川〕田本本沢田野木坪本野谷 〔香〕武多山谷岩山熊黒五松熊橋

G K F P 〔審・古富〕 〔兵〕庫 20 〔911-8〕 13 北海道 〔夙川学院〕 〔戦評〕立ち上がり、北海道がカットインなどで2点連取し、前半5分3-2と北海道リード。その後、7分間両チームともミスが続き無得点であったが、15分過ぎから兵庫の速攻が決まりだし5-4と逆にリードした。その後は兵庫の動きがよくなりスピードあふれる攻撃で前半11-5で終了。後半に入つて15分16-10と一進一退の攻防が続いたが、地力に勝る兵庫が粘る北海道を振り切った。

〔兵〕庫 20 〔911-8〕 13 北海道 〔夙川学院〕

得00410041111100
 道藤原山川井崎山坂島輪田
 北海佐竹森長桜岡丸松小三石山

G K F P (審・坂竹村)

庫塚井原井淵田口 碓 林尾
 兵平中藤大小田財田 小中
 得00010032400073

愛知 22 (139-411) 15 石川
 (愛知選抜) (石川選抜)

(戦評) 石川は2分過ぎにGKの好守より速攻で点を取りリズムに乗り始めた。一方、愛知は山田、山川を軸にセットプレーで加点、2点差で前半を終了。後半に入り、愛知の動きがよくなりすぐに同点に追いつく。その後、山田、飯田武藤を軸に着々と加点し、粘る石川を振り切った。

G K F P (審・古富)

知山奥田藤藤口川山林村川
 愛平山山飯武加川山内小大丸
 得00923124410000

熊本 19 (118-611) 17 山口
 (熊本選抜) (山口選抜)

(戦評) 前半開始早々両チームのE이스がステップシュートを決め白熱したゲームが動き出した。開

始10分まで山口が押し気味に展開したが、熊本もリズムを取り戻し一進一退の攻防が続いたが、要所で山口・田村がロング、PTを確実に決め、山口が3点リードで前半を終了。後半開始早々、熊本・田中のロング、速攻が決まりだし同点に追いつく。その後、熊本のスカイプレー、山口の速攻と加点していくが、残り5分、山口に手痛い退場が出てチャンスを確認に決めた熊本が逃げ切る。

G K F P (審・高橋)

得002010002010102
 口川林良村田井国村藤山木
 山嶋 中小世田野藤重吉加栗面

東京 20 (1010-117) 18 秋田
 (全東京) (大曲震高)

(戦評) 前半立ち上がり、両チームともにシュートに正確さを欠き、

G K F P (審・吉庭)

得003551300010
 田藤藤橋田村橋谷寺井友藤藤
 秋武伊高千中高板小細小佐武

東京 田泉井尾原田 田安川出川
 得0034422000113
 東山小水永石和 久関 山子細井吉

秋田の退場のスキをついた東京が10-7と3点リードして前半を折り返す。後半に入り、秋田は千田のロング、中村のPTなどで18分には17-17の同点に追いつくが、東京が速攻で加点、秋田の必死の追撃をかわして逃げ切った。

千葉 15 (87-7) 13 静岡岡
 (千葉選抜) (静岡選抜)

G K F P (審・森山)

得0026301010000
 岡藤端島戸下田倉保竹野藤手
 静加川柴柿岡大秋大吉加井

大阪 22 (1012-174) 11 沖縄
 (大阪選抜) (沖縄選抜)

(戦評) 大型チームの大阪に対し小ぶりな沖縄。大阪は守って速攻につきなげ着々と加点する。また、

G K F P (審・高橋)

得0033332220000
 千村佐嶋山中 星 田山大細倉永

上藤本下村 上本野井本井
 葉上藤本下村 上本野井本井

宮城 司内嶋黒馬口田樫垣藤倉野
 得0004040322160000
 宮庄今小目三山藤重 八石佐沼安

遅攻でも木口のロングを軸に実に安定した攻撃を見せる。沖縄もよく動くが、いかせん相手が大きい。後半、沖縄も池原の活躍で点を取り合いとなる。しかし、前半のリードで余裕のある大阪がリードを守ってそのまま逃げ切った。

G K F P (審・吉庭)

得0001302111012
 繩田川波嘉原原嘉垣田里嘉城
 沖橋 森小伊比池当比新松豊比池

阪田尾次口川田 里田田本形
 大上松稲木荒水 中竹棟橋山
 得00146100323002

宮城 16 (97-6) 10 福岡
 (戦評) 前半、両チームともによく動いたが、お互いにミスが目立ち、リズムに乗れなかった。福岡はミドルシュートを多用、宮城はカットイン、ポストを使った攻撃

G K F P (審・坂竹村)

得002000031010103
 岡田橋野橋見 川野林橋岡田
 福黒石中石勝 鶴 山安小広豊中

宮城 司内嶋黒馬口田樫垣藤倉野
 得0004040322160000
 宮庄今小目三山藤重 八石佐沼安

をいせ、7-4と宮城のリードで前半を折り返す。後半、福岡の退場をきっかけに宮城のペースかと思われたが、20分まで福岡のふんばりで接戦となったが、最後は力の差が出たゲームであった。

2 回戦

愛知 19 (910-116) 17 兵庫
 (愛知選抜) (兵庫選抜)

G K F P (審・大和)

得002220100201000
 庫塚井原井山淵田口 碓 杉尾
 兵取原井山淵田口 碓 杉尾

熊本 20 (128-610) 16 東京
 (熊本選抜) (東京選抜)

(戦評) 熊本はダブルポストからローリングで多彩なセット攻撃を展開。東京はセンタースリーからずらしロングで攻撃。熊本がセツ

G K F P (審・鈴木)

得00731242200000
 愛平山山飯武加川山内小大丸
 知山奥田藤藤口川山林村川

熊本 20 (128-610) 16 東京
 (熊本選抜) (東京選抜)

熊本 20 (128-610) 16 東京
 (熊本選抜) (東京選抜)

トで加すれば、東京はよく走って速攻で得点、前半10-8と東京が2点をリードして終了。後半、熊本が3点連取して逆転、東京が追いかける展開となるが、残り6分まで同点と一進一退の好ゲーム。しかし、地力に勝る熊本が残り5分で5点連取しゲームセット。

得000332210401
京田泉井尾原田 田安川出川
〔山小水永石和 久岡 山子細井吉〕

〔戦評〕速攻とカットインの愛知セツト攻撃の宮城と対象的なチームの対戦。両チームともに持ち味を出したゲームであったが、スピードに勝る愛知が11-7で前半を終了。後半に入ると宮城のロングが決まりだし、13分には12-12と同点とし、16分にはPTで勝ち越し、その後3点を加え宮城が勝利を得た。

大 阪19 [18-7] 15千 葉

〔戦評〕立ち上がり大阪は左腕エース・木口のロングが冴え、着々と加点。一方千葉は7分まで大阪のうまいディフェンスに阻まれ、なかなか得点できなかったが、星のカットインシュートをきっかけ

得002332100301
阪田尾次口川田 里田田本形
〔大上松稲木荒水 関 中竹棟橋山〕

に追い上げ、前半を8-7と1点差で折り返す。後半立ち上がり、ペナルティスローなどで得点を重ねた大阪が、ディフェンスに工夫した千葉をふり切った。

準決勝

宮 城16 [9-7] 13愛 知

〔戦評〕両チームとも動きが速くディフェンスからの速攻が持ち味。セツトでもクロスプレーからのロングシュート、ポストカットインなど多彩な攻撃を見せる両チーム、

得003421030000
知山奥田田藤藤口川山林村川
〔愛平山山飯武加川山内小大丸〕

〔戦評〕両チームとも動きが速くディフェンスからの速攻が持ち味。セツトでもクロスプレーからのロングシュート、ポストカットインなど多彩な攻撃を見せる両チーム、

大 阪20 [10-4] 13熊 本

得000323215000
宮庄今小目三山藤重
〔城司内嶋黒嶋口田樫垣藤倉野〕

前半は一進一退の攻防で、10-9と大阪が1点リードして折り返す。後半に入り、セツトでの攻撃に勝る大阪が徐々に点差を広げ、20-13で快勝した。

3位決定戦

大 阪 [14-9] 17熊 本

〔戦評〕両チームともミスが目立ち、速攻を中心に攻撃するが、ここの一番のディフェンスがなく、9-8で愛知の1点リードのまま後半戦に入った。

〔戦評〕大阪は木口をマンツーマンで攻めが思うにまかせず、一方宮城はロング、PT、カットインなどで中盤までリードするが、大阪も連続速攻で追いつき、6-5と宮城リードで前半を終了。

〔戦評〕両チームとも動きが速くディフェンスからの速攻が持ち味。セツトでもクロスプレーからのロングシュート、ポストカットインなど多彩な攻撃を見せる両チーム、

大 阪 [14-9] 13熊 本

得001081421000
得001081421000
熊本洲坂中田下中田石藤田
〔熊森竹高日田鶴森田山白佐森〕

をつかみ、熊本のミスから速攻につなぎ得点を広げていった。熊本も懸命に追い上げようとするが、オーバーステップの判定により反撃ならず、後半ペースをつかんだ愛知が制した。

決勝

宮 城11 [6-5] 10大 阪

〔戦評〕大阪は木口をマンツーマンで攻めが思うにまかせず、一方宮城はロング、PT、カットインなどで中盤までリードするが、大阪も連続速攻で追いつき、6-5と宮城リードで前半を終了。

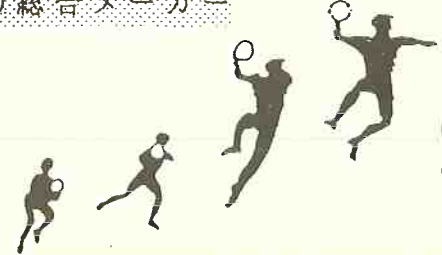
〔戦評〕両チームとも動きが速くディフェンスからの速攻が持ち味。セツトでもクロスプレーからのロングシュート、ポストカットインなど多彩な攻撃を見せる両チーム、

〔戦評〕両チームとも動きが速くディフェンスからの速攻が持ち味。セツトでもクロスプレーからのロングシュート、ポストカットインなど多彩な攻撃を見せる両チーム、

大 阪 [14-9] 13熊 本

得0021220110012
得0021220110012
阪田尾次口川田 関 里田田本形
〔大上松稲木荒水 関 中竹棟橋山〕

体操施設の総合メーカー



日本ハンドボール協会検定品製造工場

株式会社 **小川長春館**

〒721 広島県福山市引野町 5 - 46
TEL (0849) 41 - 0230

第11回アジア競技大会選手団レポートから

大会で学んだものを生かし オリンピック出場権を獲得しよう

前号でお伝えしましたように、第11回アジア大会で日本は男子は第2位、女子は第5位という結果でしたが、ここに大会に参加した男女各選手団の感想文を紹介致します。この感想文につきましては、こちらからテーマを分けてお願いして書いてもらったものですが、残念ながらすべての方に書いていただけませんでした。ここに紹介致しますのは、11月末までにお寄せいただいたものです。

男子選手団

アジア大会を振り返って

コーチ 蒲生 晴明

今回の北京アジア大会は、中東イラク問題で大会の直前まで出場の可否をめぐる、議論がなされたが、結局、イラク出場を認めないという結論に達した。けれども、我々ハンドボール(男子)競技については、この問題により、競技開始の直前まで対戦相手・日程が決定しないという事態のまま選手村に入村することになってしまった。

そして、競技開始の前日にやつとスケジュールが決定した訳だが、まさかとは思っていたが、何んと第1戦が我々のターゲットである韓国であった。1年前のアジア選手権(北京)で「金」、「銀」になっている国の対戦が第1戦とは……。何が起ころかわからないのがアジア大会であると思ひ知らされた次第である。

いずれにせよ、日程が決定し、第1戦が韓国であったということ、は、良い意味で互いの戦法を探り合いをせずに、この一戦に出すこ

とができるのは有り難いことであった。そして、ゲームの内容についても、今までトレーニングをしてきたことが、十分とはいえないが、まずまず発揮できたと思っている。

結果は、1点差で敗れ期待に届えることができず、大変残念に思っている。しかし、1年前の対戦では、日本が3点リードから、7連続失点を韓国に許してしまい、そのままのペースでゲーム終了、敗退してしまつたが、今回は、途中7点のアヘッドをディフェンスの踏張りから、速攻につなげ、セットにおいても、ロング・サイド・カッティンと総合的にトレーニングの成果を發揮して、終了5分前にタイスコアに持ち込み、2度の同点後、1点差で惜敗となった。

また、中国戦についても、大型化を図りパワーを使ったオールドツクスなヨーロッパスタイルの戦法であったが、これまた、ディフェンスからの速攻が冴え、快勝であつた。

サウジアラビアについては、デスマークからコーチを招き、ポストプレーを中心にスローテンポのスタイルで確実なプレーを行ない、ロースコアに持ち込む戦法のチームであったが、今後も、侮れない存在である。

北朝鮮は、数年前にクウェートで対戦して以来であったが、著しい成長をしており、今後の強化により更に手強い相手となりそうである。

このように、アジア各国はかなりの強化をしており、大会ごとに力をつけてきている。しかし、我々は、参加国・対戦国の情報不足や、刻々と変る国際情勢に振り回されながらの対戦になり、我々チームとしては、その場その場の対応になってしまつているのが実態である。今後は、十分に情報を集めていきたい。

結局、最終戦のアラブ首長国連邦との対戦を終え、4勝1敗で「銀メダル」に終わったが、今年6月に実施した自衛隊での「降下訓練」等により、確認するのは難しいものの、選手たちのメンタル面に何らかの影響があり、以来、個々人の着実に自信がついてきて、8月のグッドウィルゲームでは、6年ぶりに韓国に勝ち、実に今回も1点差に追い込んだの惜敗であつた。

そういう意味で、スタッフも選手も、来年の広島でのバルセロナ・オリンピック予選に向け、この悔しさを日々のトレーニングの励みとして、この雪辱を本番にて期するべく、チャレンジャーとして臨めることを、良い意味でうれしく思う。しかしながら、この1点という重みを十分に理解し、韓国・中国以上のトレーニングをつんで、オリンピック予選に向かつて行きたいと考えておりますので、日本協会をはじめ関係の方々のご支援・ご援助をよろしく願ひいたします。

チームドクターとして

教賀 一郎

我々の病院が全日本ハンドボールチームのチームドクターを務めるようになりはや1年以上が過ぎた。この間、昨夏北京でのアジア選手権を皮切りに、いくつかの国際試合に同行してきたが、今回は私がアジア大会に同行させていただいた。私にとっては初めての海外遠征参加であり、不慣れなことも多く関係諸氏にご迷惑をかけたことをお詫び致します。

しかしながら、いつも診療の場ではスポーツ選手を診ることは多

くとも、3週間近く選手たちと生活を共にして、実際の練習や試合の場をまとまって見れたことは、今後スポーツドクター、さらにはハンドボールのチームドクターとして活動していくうえで有意義であった。

今回の遠征で先ず気づいたことは、思った以上に慢性的な障害を持つ選手が多いという点である。たとえば、足関節の靭帯損傷をと

ってみると、女子の半数、男子の2名に認められた。やはり常にテーピングを必要とするような故障は、ジャンプ力や俊敏性の低下を招き、ひいては他部位の故障も生じやすいと考えられ、できるだけケガはその時に治しておくことが望ましい。特に半数以上が中・高生の時期に受傷しており、中・高生の指導者に、短期間に鍛えなくてはいけないという制約もあるだろうが、宜しく願っていた。また、故障のあった箇所は再発しやすいので、良くなっても練習前後のストレッチ、練習後のアイシング、同部のウエイトトレーニング等も考慮していただけたらと思う。

選手村での食生活では、本部から生水は当然としても、ミネラルウォーター、コーラ等の飲料水、生野菜も食べるのを控えるように注意があった。衛生面での心配もわかるが、あまり禁止禁止では、日本人の口に合わない食べ物も多い

外国ではかえってストレスがたまることもあり、難しい問題である。また、今回は天候に恵まれ、逆に乾燥しすぎ、終盤には喉を痛める者が多く、持参した薬では足りなかった。市販薬ではドーピングに引く掛かる恐れもあり、いつも持っていく薬の量には悩まされるが、今後は遠征先の季節・天候ももっと考慮すべきと反省させられた。

しかし今回は、男子では膝蓋骨骨折直後の玉村、大腿を2度も打撲した酒巻、女子では壮行試合で膝を捻挫した梅原等主力に故障者が多いなか、皆良く頑張ったと思う。これを糧にして、来年広島で開催されるアジア選手権を目指し、今回は聞けなかった国歌を聞くことができ、バルセロナへの切符を手にしてほしい。我々も今までの経験をもとに広島ではより一層のバックアップができるよう努力したい。

アジア大会に参加して

齋藤 慎太郎

まず最初に、開会式に関して自分の意見を述べると、非常に盛大なセレモニーであつたものの、大人数を集めての人工字応援や各種のマスゲームなどは、一見とても規律が整つていて整然と行なわれていたように見えたが、実際にはワイワイガヤガヤした自己主張のある応援風景はそれほど見られず、半

強制的にそういつたことをさせられていくといった風な感じを開会式だけでなく各試合の会場でも受けた。しかしそういつた反面、中国国民がこの大会にかける意気込みは、彼らの金メダル獲得数に見られたと思う。断突で1位となったメダル数は、このアジア大会を成功に終わらせた要因であつた。日本が東京オリンピックで勝つことによつて国意向揚を行つたように、中国もこの活躍によつて国民の意気が高まつていき、アジア大会が成功していつたのではないだろうか。

また、今回入居した選手村は今までの中国には見られなかった高層建築のマンション風のもので、1室が3部屋に区分けされており、そこに4人が入る形になつていて、部屋自体は広く快適であつたが、新築というのにトイレが壊れてしままい水があふれ出してしまったというところもあつた。が選手村内全体を通してみると、食事も少々油っこいのを我慢すれば食べられるし、洗濯場も広く一度に大人数の洗濯もできるので不便なこととはなく生活できた。

試合の方では目標であつた金メダルには惜しくも手が届かなかつたが、一番焦点を合わせていた韓国戦では前半ハンドレイを4点背負いながら、後半の最後に追いついたというのには収穫があつたと思う。だが今回でも自分らの簡単なミス

で相手に楽に得点を与えてしまふといったケースが多くみられ、その場面を少しでもなくしていかない限り勝ちにはつながらないし、今後は韓国と日本は1点、2点の勝負になつてくると思う。それを考えると、一つのパスやシュートについてもイージーなミスは絶対に出すことのないようにしなければならぬ。

その他のチームで注目しなければいけないのは、着実に力をつけてきている中国が挙げられる。総合的な力から見れば日本、韓国にはまだ劣っているのだが、個人の基礎的な体力についてはフェイント力、シュート力など日本、韓国に勝るとも劣らないところまで伸びてきているようだ。

それらを考えると日本がアジアを勝ち抜くためには韓国だけでなく中国対策も十分に考えておく必要があると思う。今回は中山選手が活躍したこともあり次にあつた時には当然マークもきつくなつてくるかと思われ。そういつた時にどうするかといったことを対策として練ることも重要な課題であるし、今後個人の意識の中にも入れておかなければならぬことである。

アジア大会に参加して

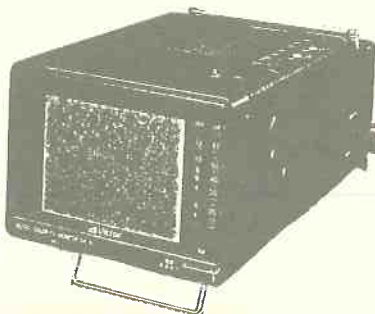
酒巻 清治

待望のアジア競技大会が平成2年9月22日北京工人体育場に於い

Victor

今日のヒーローは
背番号6。

ヒーローになる選手は、どこか輝いている。
新発売のコンパクトカラー「6inch Magazine」も、ファッショナブルでスポーティで、感覚バツグンのパーソナルタイプ。輝いているナー。



ハンドボールニころを満たす

Magazine
6inch

6型コンパクトカラーテレビ

CX-60

標準価格79,800円(AC電源付)

て開会されました。

我々日本選手団は、正午過ぎに選手村中庭に集合し入場行進用の日の丸と中国国旗（五星旗）を手渡され、日本選手団指定のバスに乗り込み一路工人体育場へ向かいました。

この際日本の役員の方から、五星旗を渡された者は必ず左上の星の所を持つようにと注意され、面倒なことだと思いましたが、そうしないと中国国民は侮辱されたと受け取るらしく、冗談まじりに国際問題に発展しかねないと首をすくねたものでした。

30分ほどで工人体育場に到着、1時間ほど待たされ日本選手団入場の順番がやって来ました。古橋廣之進団長以下、677名の役員・選手が、佐藤伊知子旗手を先頭に男性はモスグリーンのブレザーに白のスラックス、女性はピンクのスカートに白のポーチを肩から掛け堂々行進しました。日本選手団はいうまでもありませんが、各国ともなかなかファッショナブルで大変楽しませてくれました。

日本選手団はグラウンド内ほぼ中央に位置し、中国選手団入場まで待ったわけですが、VIP席に向かって左側の観客席最上段に巨大なスクリーンが設置されており、各国の入場行進の様子が画面一杯に写し出されました。

中東問題で揺れる国々の入場行進に興味があったので、スクリー

ンに注目していたところ、クウェート選手団には盛大な観声が上がります、中国国民にも感心の高い出来事であるということがわかりました。他に北朝鮮・香港・台湾等が入場して来た時にも観声が上がります、アジア地域の競技大会らしさが出てると感じさせられました。

慣例通り式典が終了し各国選手団は観客席に上げられ、集団演技を観るようになりました。全世界の人口の4分の1を占めるといわれる中国の集団演技らしく、2万人近い演技者がグラウンドを埋めつくし一斉に演技を行なうような圧感で、部分部分の失敗はあったものの圧倒的な数の演技の前にはかき消されてしまいました。

今回は広島で行なわれることが決定しているのをついつい置き換えて考えてしまうわけですが、他の部分はともかく、華やかで迫力のある北京大会以上のものができるのか、少し不安が残ったのも正直なところでした。

韓国戦を振り返って

玉村 健次

日本と韓国の試合は、イラク、クウェートの不参加で、組み合わせが1回戦総当たりに変更となり大会第1日目に行なわれた。日本チームは、先のグッドウィルゲームで、7年ぶりに韓国から白星を

握っていて、今大会も韓国を下し、念頭の金メダルを取るために全員

燃えていた。

対する韓国も、グッドウィルズゲーム時のメンバーに、姜在源などオリンピック銀メダリストを入れ、雪辱を果たそうと意気込んでの戦いであった。

立ち上がり日本が先行し、がぜんムードは盛り上がったが、韓国も負けず得点し、一進一退の攻防が続いたが、韓国13番姜在源を中心とした攻撃に、デイエンスを崩され、連続得点を許してしまい、前半は韓国の4点リードで終わった。

後半に入っても、韓国が有利に試合を展開し、日本が追う形となったが、韓国ゴールキーパーにシエートを阻まれ、点差はちぢまらず、7点差をつけられた時は万事休したかと思われたが、後半15分すぎから韓国のミスで日本がペイスを握り出し、速攻、ポスト、サイド攻撃などで、点差をちぢめていった。

デイエンスでも、よく足が動き、韓国の速い攻撃をよくマークしていた。

残り1分で同点になり、果然日本が押し気味に試合を進めたが、韓国3番に中央からシエートを打たれ、ゴールキーパー橋本の手に当たったが、得点になってしまい、それが決勝点となり、日本は1点差で惜敗した。

結果的には1点差であったが、試合の後半の中盤での7点差は致命傷であり、韓国が次の攻撃でミ

スをせずに得点していたら、点差はちぢまらなかつたかもしれない。しかし、試合の終盤に見せた日本チームの底力には素晴らしいものがあり、韓国への選手も顔色がなく、あせりを生じていたのも事実であった。

今回の試合での反省を生かし、来年のオリンピック予選では絶対に勝ちたいし、また今回ケガでチーム等に迷惑をかけたので、早く体調を戻し、チームに貢献できるように努力します。

対サウジアラビア戦

河原 隆 雅

第11回アジア競技大会が、9月22日の開会式とともにその幕をあけた。私たち全日本ハンドボールチームも、9月21日より北京選手村に入村し、この大会に備えた。

イラクのクウェート侵攻による影響で、クウェート、イラク共に不参加となったため、対戦相手が大幅に変更になり、予選リーグ決勝トーナメント方式から総当たり戦と変わり、初戦9月27日に韓国と対戦することになった。韓国には今年7月末にグッドウィルゲームズで対戦して勝っている。これは公式戦では1982年に勝って以来の久しぶりの白星であった。しかしアジアで王座に立つためには、やはり宿敵韓国に勝つことが最大の難関である。私たちは、チーム一丸となって初戦の韓国に臨んだ

が、26対25の1点差で敗れた。負けたことよって自力優勝はなくなった日本チームは残り試合を大切に、一戦一戦を戦っていたけばまだ優勝のチャンスはあるという気持ちで9月29日に第2戦サウジアラビアと対戦した。

サウジアラビアとは、昨年の世界選手権アジア予選の時対戦し、大差で勝ったチームであるが、試合前のミーティングでは次のような注意点が挙げられた。まず第一に自分自身に勝ち、自分たちのプレーが出せるようにすること。第二に受け身にならず、攻めることよって自分たちのペイスをつかむ。第三に、簡単なプレーをより正確に。第四に力を抜くことなく全力を尽くすことなど、どの試合にも共通の重要な注意点をかりであった。

しかし、いざ試合に入ってみるとかなりのスローペースな試合で、日本チームは相手のペースに飲まれ、なかなか流れをかえることができない。昨年の試合時のメンバーの顔ぶれとほとんど変わってはいなかったものの、ヨーロッパからコーチを呼んだせいはかなり強化しているようだ。前半終わって見れば9対7で勝ってはいるものの負けているような気分である。ハーフタイムのミーティングの際、試合の流れがスローペースで自分たちのペースがつかめないのだから、もっと流れが速くなるように

フリースローボールを速くポイン
トに置いたりして、自分たちでも
っと速い試合展開に持っていこう
という作戦を立てた。

後半が始まり、サウジアラビア
は速い攻撃といえばカットからの
ワンマン速攻ぐらいで、後はセッ
トで揺さぶりながらパッシングプ
レーをとられないようにうまくフ
リースローでボールを長くマイボ
ールにして攻撃を繰り返してくる。
一方、いざ日本がマイボールにし
速い流れにしようと速攻に出れば
シュートミス、パスミス、キャッ
チミスなどのミスで悪循環になり
なかなか点差を広げることができ
ず、後半も残りわずかの所で1点
差、2点差の勝負になってしまっ
た。結局18対16の2点差で逃げ切
ったものの、試合が終わってみれば
反省点の多い試合であった。

試合前のミーティングで話し合
ったことがほとんど実行できなか
った。もっとミスを少なくし、得
点できる所で確実に得点してい
かないと、サウジアラビアのよう
なスローペースのチームには、ま
た同じような結果になりかねない。
今大会でサウジアラビアは、日本
韓国に敗れたものの中1点差
で勝ち3位に入賞を果たし、今後
さらに成長してくるチームだと思
う。それに太刀打ちするためにも
私たちは、試合1時間に集中でき
るよう、ボールに執着心を持ち、
相手に勝つためにもまず自分に勝

てるように、今後より一層頑張り
たいと思います。

対サウジアラビア戦

甲斐 章 義

韓国に1点差で敗れたが、
まだ大切な中国戦を含めて4試合
あり、韓国も日本同様中国戦を最
終日に控え4試合残していた。韓
国もどこで転ぶかわからないし、
日本も最大の目標の韓国戦が終っ
たからといってこの先まだ気は抜
けなかった。つまりまだ金メダル
の望みはあった。そのことはスタ
ッフも強調しており、また選手一
人も十分理解していた。

そして、9月29日サウジアラビ
ア戦、とにかく第2戦ということ
でこの後の試合も波に乗れるよう
に白星をここで確実に取っておく
うというスタッフの言葉で、日本
は前半から気を入れて勝負をかけ
にいったが、韓国戦の時のような
戦いぶりは見られなかった。

ドイツフェンスもオフフェンスも
まのコンピがとれず、空回りした
かのように日本のリズムには乗れ
なかった。確実にセーフティゾ
ーンをキープしようとしすぎたの
か、シュート力があるのかないの
かわからない相手に無造作につめ
てしまったりしていた。そこで、
日本ドイツフェンスの弱い大型のポ
ストマンにパスを落とされ強引に
もつていかれるケースがあった。
ロングを打たせて様子を見ること

も必要だったのではないかと思わ
れる。

長くボールを持たれサウジアラ
ビアが攻めあぐんでいる時、相手
のプレーを長く見すぎている。そ
の結果、オーバーステップぎみの
フェイントやカットインで点を取
られレフェリングにも悩まされた
ここまでは、サウジアラビアの持
ち味は十分に發揮されていたよう
に思う。と同時に日本のミスが多
かった。

しかし後半からは日本はセット
オフフェンスで点を取られた回数は
少なかったように思う。サウジア
ラビアのポイントをしつかり読ん
で潰していた。同じパターンで点
を取られることはなかった。

この後もリードはしていたが、
最後までサウジアラビアが食いつ
いてこれた理由として、オフフェ
ンスのミスが多かったのが挙げられ
る。ポストだけのコンビに頼りすぎ
て結局ポストだけを見るドイツフェ
ンスをされていた。また、シュエ
トミスも多く、次の中国戦を意識
しすぎた気配もあった。もっと簡
単なプレーで点は取れたと思う。
サウジアラビアに対する攻め方で
はなかった。

試合結果は2点差で辛くも逃げ
勝った。これは勝負どころを把握
して、そこは確実に点を取ってい
たからだと思う。
しかし、このサウジアラビア戦
はこの先まだ4試合なが起こる

かわからないということを教えさ
せられた試合であり、次の中国戦
でサウジアラビア戦の反省が生か
されたことはたしかであったと思
う。

対中国戦

魚住 和彦

初戦の韓国を接戦の末、1点差
で落としてしまい、当初の目標で
あった金メダルが、危うくなった。
2試合目のサウジアラビア戦は、
楽勝で勝てると思ったが、思っ
いた以上にサウジの善戦に合い、
2点差で辛くも勝利を得た。

そして、3試合目、中国戦を迎
えた。金メダルを狙う全日本チ
ームとしては、絶対には落とすこと
ができない試合となった。

中国は、1、2戦を大差で勝っ
て来ており、それに開催国とあつ
てムードは最高潮に達しての試合
となった。チーム自体もベテラン
と若手がうまく噛み合い、前の試
合では調子にのせたら手のつけら
れない場面が見られた。でも、対
戦相手のDFの弱さもあってか、
そんなに強いチームという印象は
なかった。

ゲーム前のミーティングでは、
攻撃は、リズムを大切にすること、
守りでは、摺えに行くのではなく、
打たせてマイボールにすることな
どがあげられた。しかし最終的に
は、勝利という結果を出さないとい
しょうがないので、一致団結して

日本が生んだ世界のボール

日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)



タチカラニムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れた
L・B・C中空製法です。



タチカラ株式会社

東京都台東区松ヶ谷1-11-7
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

頑張ろうということだった。

試合は、予想通り大観衆のほどだったが、中国側応援という中で始めた。中国の攻めは単調で、13番のきつかけからの攻撃、45度やサイドが切つての攻撃がよく見られた。DFは、ボールに対しての寄りが早く、早目にチェンジして来た。型として一・二・三のDFをひいていたものの、すごく広く感じられた。よって全日本の攻撃では、簡単な切り返しがよくきいていた。

全日本は、DFが好調で、よく足が動いており、練習でやった2対2の壁を崩さないということもしっかりできており、打たせてキーパーが取るという守りができていたと思う。DFが良いと、おのずと攻撃も良くなるわけで、中山のロングに始まり、甲斐のフエイントプレー、酒巻さんのカットインプレーと多彩な攻撃で点数を重ねていった。

常にリードする形となり、終われば、前半12対16、後半9対13、合計21対29と、予想以上の点差がつき完璧な勝利といえる試合となった。

中国としては、ここまで離されるとは思わなかっただろう。来年のアジア選手権を控えて、全日本としては中国に対し、強い全日本を見せつけられたと思う。

対北朝鮮戦

宮下和広

私たちは、2勝1敗でこのゲームを迎えたわけですが、選手全員対戦するのは初めてでどんなチームなのかわからなかった。

とりあえず、試合観戦をして感じたことは、雑ではあるが、速攻が早く、クロスプレーやショートスカイなどを主体に攻めてくるチームで、自分たちとしては守りでは、自分のマークをしつかり取り2対2のラインを崩さずに守れば相手が勝手にミスをしてくれるので、この部分を徹底した。

そして、攻めでは、簡単なことを確実にプレーすること。

あとは、韓国が負ければ得失点差で、金メダルの可能性も出てくるのでとにかく点を取らなければいけなかった。

ゲームが始まり、点を取らなければという焦る気持ちを知っているかのようにショートスカイを数本決められ自分たちのペースをつかめず、チームにとって勢いの欠ける展開になってしまった。

そして、ハーフタイムでは思っていた通り「カツ」を入れられ後半に臨んだ。

しかし、審判のホイッスルも手伝ってか後半になっても何かしつくりこないゲーム内容で、点差は33対17と開いたものの、しつくりこないゲームとなってしまった。

前試合が中国戦でそれに勝つたので、気持ちのどこかでホッとしまつていたのでと思う。やはり国と国との戦いなので、どんな相手でも気を引き締めて取り組まなければ今回みたいなピリッとならないゲームになってしまうような気がします。

対アラブ首長国連邦戦

秋吉哲男

アラブ首長国連邦戦は、日本が平均身長で上回るばかりか、スピード、テクニク、パワーも一枚上だった。

試合内容は、最終戦ということもあり、メンバー全員気迫がみなぎっていたが、試合の開始早々はその気迫が空回りして、得点が伸びなかった。

しかし、ワンマン速攻や二次速攻が決まり始めてから点差が開き始め、一方的な試合になった。

アラブは、独特なパス回しから時折りミドルやポスト攻撃を仕掛けてくるが、いずれも短発で、日本のDFを崩すことができなかった。

今回、中東勢の、サウジアラビア、アラブと2試合行なってみて一番感じたことは、調子に乗った時に持っている力の120%以上は出ているのではないかと思われるほど迫力がある攻撃だった。

中東勢とは、これからも対戦していくが、相手が諦めるような、

OF、DFを日本がやっていかにいかに、調子づかせ、取り返しのつかないことになってしまうと思う。

また、中東勢に限らず、そのような気持ちで試合に臨まなければならないと思う。

最後に、今大会は、韓国に敗れ2位だったが、来年の8月に行なわれるアジア選手権（バルセロナ・オリンピック予選）では、チームの課題、個人の課題を克服して、必ず優勝し、オリンピックの切符を手にしたと思います。

選手村の生活

矢内浩

私にとって今回が3度目のアジア大会でしたが、選手村については、生活する上ではなんの不自由はなかったと思います。

選手村の造りは、15階建のマンション造りで、「2LDK」から「3LDK」で、各室4名〜7名が入り、16日間生活をしたわけですが、近代的な造りのわりには、内装で手抜きが目立ち、むりやり大会に間に合わせた感がありました。ある室では、トイレが詰まり、夜中に工事をするなど日本では考えられないことが多かったと思います。

また今回の大会では、選手村にアルコール等の持ち込みが禁止され、国内より持ち込んだウイスキーなどを没収され、ゲート内に山

打ちこんでしまう性格です。

好きなことを、好きなだけやっているうちに、ここまで来た。
面白いなあ、くやしいなうれしいなと言っているうちに、ここにいた。
ボールいっこのあれば、夢中になれるボクたちは、きっと天下無類の幸せ者なんだ、と思います。



HSH3AD タンゴ3号 ¥6,000
●天然皮革 ●最高級品 ●手縫い
日本リーグ男子試合球

株式会社 **モルテン molten**
東京本社 東京都墨田区横川5丁目5-7 〒130 ☎03-625-7581代
大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・リノUSA・デュッセルドルフ・W.G.



積みになつているのをゲートを通るたびに横目でチラチラ見ながら選手たちが通つてゐる姿がみうけられました。これまでの大会でアルコール等に厳しかったのは初めで、各選手も不満をもちながらも、時間がたつにつれ各選手が頭を使いピンなどではX線のテレビカメラに映るためボリ容器にウイスキーを入れ村内に持ち込んでいた選手も少なくなつたと聞いています。

食事については、お国柄中華が中心で、油が多すぎて日本選手には評判が悪かつたと思います。

最後に、今大会はこれまでの大会の内では入出村については一番厳しかったと思います。村外の回りには、50m/100m間隔で兵士が自動小銃を持ち、四六時中目を光らせている姿を見ると、昨年の天安門事件を思い出して背筋がぞつとしましたが、大会期間中はなにもなく結局今大会は中国のためにだけ開催されたものと感じたのは私だけではなかつたと思いました。

閉会式に参加して

武田 英雄

第11回アジア大会の閉会式に、幸運にも参加することができた。期待と不安を胸に行進した開会式から試合が終えて解放感が全体から私自身感じられた。

パラグライダーによる空中ショーを見上げながら、記念写真を撮

つたり、外国選手とピンの交換を入場行進前の短い時間の中で行なつていました。

入場行進は開会式にくらべて比較的自由に行進し、日本選手は緊張から解き放れるようにウェーブを中国の人々に披露しましたが、不発に終わったようでした。しかし各選手の気持が前面に出ていたと思います。近い将来はアジアの小さな国の選手から大きな国の選手まで一緒に行進することによって最高の閉会式ができるのではないかと思ひながら歩きました。

スタンドには、多くの中国の人々がつめかけ、選手に声援してくれましたが、その中でも中国台北には一段と高い声援がおくられており感激しました。近い将来は国の違いはあるが、中国と中国台北が一緒に行進することを実現してほしいです。

フィールド内のセレモニーが終了すると選手はスタンドに行き、中国伝統の踊りを見学することができました。剣を使つての踊りや20mはあると思われ龍が踊りまくり空に舞い上がつて行きました。アジア中の民族衣装をまとつての踊り、サーカス団による自転車10人乗りの曲技などを披露してくれましたが、最後のフィナーレとして美しく火花が披露されました。夜の空に美しい色とりどりの形の火花がアジア大会のフィナーレを美しく飾つて閉会式が終了しました。

日本チームの特色

首藤 信一

日本チームのこれまでのゲームを考へて見ると、前・後半の立ち上がりが悪い傾向があると思ひます。

また、ゲーム中DFが悪くなる

と攻撃まで悪くなり、相手に連続失点を許すケースが見られることから、DFでチームのリズムをとつてゆくチームだと思ひます。

DFがしっかりとしている場合は、速攻やセットプレーでも実に良く得点をあげます。このことから、GKのファインプレーは不可欠で、GKがあたつていない時は、苦しい物も考へられます。

速攻を見るとほとんど一発速攻が多く、パスをつないだ二次速攻での得点が少ないことからボールのつなぎに問題があると思ひます。

攻撃を見ると、前は外人のひいたDFに弱い所がありました。今は、上から打てる両45度がある

ので苦にする必要もなくなり、チームの得点能力もアップしていると思ひます。しかし、その半面DFがつかめるようになり、ポストが生き出した時に、なかなかパスを通せず、チャンスを生かせないことが多くあり、全体的にポストへのパスが少なくないチームだと思ひます。

攻めの指示は、センターから出されるものが多く、ほとんどコン

ビプレーで攻撃します。フォーメーションの動きは、サイドにボールを入れてタイミングをとること

が多く、相手DFがサイドにボールを入れないようした場合攻めあぐねる傾向があります。

あと、左ききが1人しかいないためか、ボール回しがオープンに

女子選手団

結果と反省

コーチ 水上 一

成績は1勝3敗1分で、5位であった。全く残念な結果であり、メダルを目標にしていただけに責任を痛感している。反省点として以下のことがあげられる。

①控えメンバーのトレーニング不足

中国、韓国とも前半22/23分までは、全くの互角の戦いであったが、レギュラーが明らかに疲労している時、控えのメンバーを投入しても、そこまで、トレーニングが出来てなく、ミスをしてはまたレギュラーを投入し、余力のないまま戦つて前半残り5分ぐらいで連続失点を受けてしまった。この

ことは後半にも同様であった。

て真中4人の層が厚くなり、相手OFに合わせたトップや45度をひけるようになり、堅いDFにつな

がっていると思ひます。しかし、大きいポストに対しては弱く、そこからチャンスまたはシュートを狙われると弱い所があります。相手チームを見ると、強引にプレーしてくるチームに対しては弱い、ある程度ボールを綺麗に回すチームに対しては強い面

があります。

以上のことが日本チームの特色だと思ひます。

②戦術的な多彩さの不足

攻撃において、ポジション活動が主体であり、ロングシュートが決まっている時は良いが、だめなとき単調になり、各人が個人プレー(フェイント、ドリブル)の流

れる傾向にあったことが、この大会でも表われてしまった。ポジション移動(たとえば、one downからtwo downへの移行)の攻撃が未

消化のままであった。

相手5人の時の攻撃戦術が不安定であった。相手5人に対するフォーメーションは用意していたが、トレーニング不足で安定がなかった。

コンピネーションプレーが不完全であった。たとえば、スカイブ

レーやポストプレーなど2人、3人でのコンビプレーが不完全で、ミスに終ることが多く、トレーニング不足であった。

③1対1の弱さ
攻防において1対1の弱さが目立った。

たとえば、韓国チームのフェイントによる1対1の強さや、台北チームのカットインのスピード、北朝鮮の身体を張った1対1の防衛。

④精神的な弱さ

北朝鮮とのゲームにおいて、残り7分3点リードを逆転されたゲームなど、グイグイ押ししてくる北朝鮮の迫力に圧倒されるように逆転された。防衛では押し込まれ、攻撃では、逃げたようなプレーが見られるなど、このこという時の強さに欠けていた。また、台北戦では、5点差で勝てば3位になるということもあり、全員が緊張してしまい、全く力を出せない選手もいた。

以上いろいろな反省点をあげたが、多くがコーチングスタッフの問題である。準備が十分でなかった点を、対戦チームにつかれた結果となり、明らかにトレーニング不足であった。しかし、個々には韓国戦で小松選手が大活躍するなど若手の選手の台頭も見られた。来年間催される、広島でのアジア選手権(兼オリンピック予選)へは、長期間の継続した合宿を行な

うことで、これらの個々の反省点を解消し、かつ対戦チームの分析を徹底して行ない、選手ともども努力していきたいと思っている。

アジア大会に参加して

竹吉 由江

9月24日月曜日、アジア競技大会の開会式が盛大に行われました。開会式では、子供達の華麗な踊りや「あつ」と驚かせる演出などで私たちを十分満足させてくれました。

26日から男子と一日置きに試合は行なわれ、韓国・中国・北朝鮮・台湾・香港の5チームでメダルを争いました。中でも台湾戦がとてつもない思いをして一番印象に残っています。台湾は、全体的に小柄でジュニア上がりの子たちがほとんどスタートメンバーで出ていました。私がジュニアチームの時台湾で世界ジュニア選手権大会の出場権を争う試合がありました。今までの日本は台湾に必ず勝っていたという話を聞いていたので、自分たちも勝つのが当たり前だと思っていました。1戦目は快勝し、2戦目は6点もリードされてしまいました。後半追い上げたものの負けてしまいました。しかし、結果的に得失点差で勝ちましたけど、自分たちの負け試合から台湾は、波に乗ってしまっただのだと思います。今年のジュニアは、2戦ともあっさり負けてしまったと聞きましたし、台湾は日本にとって、怖いチーム

になってしまったのです。

今回のアジア大会での試合も最後まで点の取り合いでした。後半は、ほとんど台湾のペースで、日本は1点を取るのがやっとでした。最後の最後に日本が1点取って試合は、引き分けに終わってしまいました。終って少しすると何故か延長戦をすることになり、日本は、意地で勝つことができたが、正式な結果では、負けとなってしまい、自分達は5位で終わってしまいました。

延長戦での結果が無効になり、日本にとって大変ショックなことでした。このことについて、かなり揉めたそうですが、選手たちのショックは大きく、この台湾戦の一戦は決して忘れることのない悔しさが残っていると思います。これからの日本に必要なのは、体力よりも誰にも負けないくらいの強い精神と忍耐だと私は思います。もつとも練習の中で各自が力を付け、沢山のゲームを経験し、チームに自信をつけて行かなければ今度こそ負けてしまうかもしれません。来年の10月に行なわれるオリンピック予選では必ず勝たなければいけないし、勝つために心技体の充実に努力を惜しまず努力いたします。

北朝鮮の特色について

松澤 祐子

私にとってアジア大会は、初め

ての参加で4年に一度という大会に出れたことを、とてもうれしく思っています。

世界選手権となると、大柄な長身選手が目立ちますが、アジア大会では、日本を含め小柄な選手ばかりでした。このアジア大会を通じて、アジアで勝てないと世界へ出て行けません。世界の壁は厚いといいますが、まだまだ未熟者の私たちには、アジアの壁も厚いのだと感じました。

この大会での2戦目の北朝鮮戦の1敗は、最後まで足を引っぱりました。北朝鮮という国は、隣国でありながら、行くことができないう遠い国だと思っていました。

アジア大会に参加して、見た北朝鮮は、一見韓国人のようだけれども、まったく違った雰囲気を持った人たちでした。

ハンドボールのプレー面では、長身のすごいロングシューターがいる訳でもないのに、全員が走って、手荒な感じのするシュートを打ってくるチームでした。韓国などは、ゲームすることが多く見られるけれど、北朝鮮は初めてのゲームとあって、どんなチームなのかわからなかったもので、戸惑いも見られました。

北朝鮮は、一言でいばてしまえば、攻撃的なチームだと思います。技術的なことより、今の私たちに足りない、精神力の強さが見られました。得点が難されても、勝つと

JUKI

Mind & Technology

JUKIは、衣文化を創造します。

JUKI 株式会社 〒182 東京都調布市国領町8-2-1 電話:(03)480-1111(代)

工業用ミシン ● パラレルシステム機器 ● 皮革厚物機器 ● 家庭用ミシン ● 家電製品 ● 家庭用品 ● 電子産業装置 ● 電子機器

いうことに対して意欲的で、残り時間がなくて、この得点差ならだいたいようぶだと思っただけ、いつ何をするかわからないチームなので、最後まで気が抜けませんでした。

結果として日本は、26対24で北朝鮮に敗れて、5位になってしまいました。ゲーム前に、私たちは「戦争をしに行くんだ」と言われまじった。最後の最後には、技術的なことよりも、精神的なことの方が大切なのではないかと思います。来年広島で行われるアジア予選には、この大会の悔しさを忘れずに、大和魂を持って挑み、頑張りたいと思います。

対中国戦

比嘉 晴美

2回戦に北朝鮮という新しく出てきたチームに負けてしまい後の試合は絶対に落とせない状態の中で、中国と対戦することになった。過去、中国とは今までの大会でいいところまでいきながら、いつも負けており、来年のオリンピック予選となるアジア選手権のためにも、中国戦に焦点を合わせていたので、全員、気合を入れて試合に臨んだ。

先取点を取られたものの、点を取れるゲームを展開、15分ぐらいから日本の得点のリズムがくずれ、なかなかシュートが決まらなくなりだした時、長年のキ

ャリアをもつ中国の2番の選手の強引なプレーや、体をあずけてくるポストなどで、隙をつかれ、おされぎみのまま4点差で前半を折り返した。

後半に入ってから、ディフェンスの隙をつかれ、6点差になった。その後中国はリズムにのり、前半にマークされシュートチャンスが少なかった17番のロングが決まりだし、それからポストやサイドなどに展開され点差を広げられていった。

一方日本は、フォーメーションやセンターの切りくずしから得点を重ね、4点差までいくが、相手が5人の時のセット攻撃ミスや、ノーマークシュートミスなどで、得点差を縮めることができず、結局6点差で試合を終了した。

反省点として、ノーマークシュートの確実性、コンビネーションなどをもっと細かく合わせていき、ディフェンスでは押しこまれにくいようなパワーをつけること。

当面の焦点は、中国になると思うが、台湾や北朝鮮も大部力をつけているので、これからもっときびしくなってきたますが、頑張りたいと思います。

香港チームの特色

武津 優子

アジア大会が始まり、現地入りするまで、香港に対しての情報が無く、選手村の日本選手団の棟と

香港選手団の棟が離れていたため、チームの雰囲気もわかりませんでしたし、生活の部分でも交流がなかったで、対戦した時は、全く零の状態での顔を合わせたことになりました。

香港は第4戦目で、韓国、北朝鮮、中国に3連敗の後で、必ず白星、そして次の台湾戦へつながるゲームにすることということで臨みました。試合前のエール、握手を交わす時でも、特に高ぶりは感じられなかったように思います。

試合は、前半20―3、後半15―2、計35―5で終わりました。

選手自体は小柄な方で、大きな選手目立ったプレーヤーはいませんでした。

日本もハンドボールの普及度は、まだまだだと思えますが、香港は日本以上に遅れているのではないでしようか。

今アジアのハンドボール界の中で、ランキングはありますが、これから、かなり厳しくなると思えます。

台湾チームの特色

小松 晃子

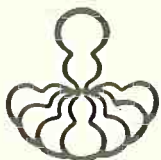
私にとって初めてのナショナルメンバーで、初めての国際大会に参加しての試合でした。そのため日本では知ることのできないいろいろなことを勉強することができました。

台湾というチームは、まだほと

んどが高校生という若いチームでしたが、去年から結集されたジュニアのメンバーであり、今のジュニア、兼ナショナルのメンバーでもあるため、「こぞ」という時の団結力には、優れたものがありました。攻撃力の方は、大きくて上から打ってくる大砲役の子がいるわけではありませんでしたが、ディフェンスをくずしてくるキレのあるフエイントと、ブラインドを利用してスナップシュートなどで、多く得点されました。キーパーも身長は大きい方ではなかったものの、瞬発力とボールへの集着力は、すごかったです。若いチームなためかミスなどは多かったです。ミスは恐れずに、堂々と自分たちのプレーをしているように見えました。このチームは、これからどれだけ伸びるのだろうかと不安にもなりました。

私たちは、この試合は引き分けとなり、大会規定に従い、延長戦を行いました。激戦の末27―25で勝ち、銅メダルを手にしたかにみえました。

次の日、台湾の人たちが私たちのところまで来て、手などを使いながら、「私たちはあなたたちに負けたために、50万、飛んでいってしまった……。」と訴えるかのようについてきました。彼女たちにとって、試合は仕事と一緒だったため、そう訴えるようになってきたのだと思います。彼女たちの相



創業72年

中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村 昭光

本社 〒108 東京都港区芝浦 2-3-39

電話 東京 (03) 451-4161(代)

手に対する闘争心には驚いてしまいました。

そして、これが、彼女たちと私たちの試合に対する執着心の違いであると思います。

また、今の私たちには、足りないものであり、これを満たすことがこれからの課題であると思います。

一晩開けると、延長戦の部分のスコアは、無効となり、5位という結果に終わってしまいました。この試合で、1点の重さがどれだけ大切かということを感じさせられました。

私は、このような結果に終わってしまったことを悔んでなりません。この悔しさを、これからの課題とし、合宿、試合に生かして、次の広島でのアジア選手権で、バールセロナへの切符を手にするように、自分自身精一杯努力して頑張りたいと思います。

遠征全般について

梅原 直美

今回、初めてアジア大会という大きな国際大会に参加出来たことは私にとって一生の記念になると思います。また、私にとつての今回のアジア大会はいろいろと勉強になったこと、学んだことが沢山ありました。

まず一つ目は、精神的なことです。試合前のミーティングの時に監督から国と国との戦いだから、私た

ちは戦争にきているんだといわれました。でも私はその時に心の中で「戦争だつて」と思いながら聞いていました。

でも終つてみてよく考えてみると本当にその通りで、私たちは戦争にきていたんだと思いました。それは何故かという、いざ試合になってみると結果的に、考え方の甘さが出てきたり、チームの弱い部分がそのまま出たりと自分たちの弱さで負けたことが3度ありました。

でも、プレーで負けたのなら直しようがあると思いますが、精神的なことは、いくら直そうと思つても自分の意志が伴わなければ結局なにをしても一緒に、大事な所で弱い所が出てしまうと思ひました。

そして、全試合を通して自分何が一番大事なのか考えてみたんですが、凄くプレーをするとか凄くいシュートをするとかではなく、ハンドボールに対する心構えと姿勢だと思いました。また、自分に置き換えてみますと、私はそのふたつ共が中途半端だったと思ひました。

2つ目は、自分自身のことについてです。このアジア大会は、私にとつてとても意味のある大会でした。昨年の世界Bの予選で日の丸のユニフォームを脱いでいたはずなのにまた再び戻つて私にでも役に立てることがあればアジア

大会に臨み、結果は5位でした。その時に自分はこの大会にきて何をしてきたんだろうかと疑問に思うようになりました。このチームの中で私は何をしたのか。たとえ、試合では頑張つてたとか精神的にチームを引っばつてたとか。

でも何もできず、ただしたといえば足を引っぱつていてチームのマインナ部分をふくつていたような気がします。私は、いったい何のために全日本に戻していただいたんだろうと考えるととても情けなくして申し訳なく思いました。

3つ目は、沢山の方々と話す機会があり、自分の競技あるいはその他の競技についての見方や考え方、また感覚の違いについていろいろと話したりすることができました。いろんな方と話している

と沢山教えられることもあったり、「あ、こんなこともあるんだと思うこともありました。最後に、この大会に参加できて私にとつて大きなプラスになりました。そして、出発直前までいろいろの方々にお世話になったことに感謝しております。また、私を再び全日本の仲間に入れてくださったスタッフの方々にもありがとうとお礼をいいたと思います。

対北朝鮮戦

松田 史佳

打倒中国で、アジア大会に臨んだ私たちは、いきなり2戦目の北

朝鮮戦で大きくつまづいてしまつた。初めて対戦する相手であり、どういったチームかは、前々日の北朝鮮対台湾の23-25のゲームをみただけである。しかしこういつたことは、国際試合においては当然のことである。

9月28日、15時30分試合開始。自分は緊張していた。プレーが小さくなり消極的な動きでミスが多発、まわりが見えていなかった。全く情けない。前半とつたらとり返すといったシーソーゲームで、11-10と、1点リードで折り返した。ハーフタイム。不安な気持ちでいっばいだつた。いったい自分は30分間何をしたのか？ だが、40mのコートを何回も往復していただけた。

後半に入り、しばらくは苦しい時が続いたが、相手の退場もあり、ミスから得点につなげることができ、日本は4点のリードをようやくつかむことができた。しかし、ここで勝ちゲームを知らない「全日本女子の弱さ」が出てしまった。4点リードしていながら、後半の後半6連続失点という最悪も最悪で、ディフェンスが守りきれなかつた。技術面においては、何もな

いと思う。ただ強引につこんでくるプレーに、日本はついていけなかつた。自分、自分たちのミスがあまりにも多すぎた。北朝鮮選手が、ラストの笛が鳴つた瞬間抱き合つて喜んでた。

ねばりは頑張り 気力は体力

医薬品



キョーレオピン

医薬品



レオピンファイブ

効能・効果

- 滋養強壮●虚弱体質
- 肉体的疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害
- 発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給



湧永製薬株式会社

- 札幌011(747)2166 ●東京03(293)3351 ●名古屋052(971)5901
- 大阪06(458)8901 ●広島082(264)4116 ●福岡092(481)7382

その姿は、今でもはつきり、頭に浮かんでくる。

さらに、北朝鮮はどんどん強化してくるにちがいない。体も、スピードも、引け目は全く感じられないが、勝つことへの執念、精神的に相手の方が上回っていた。

絶対に勝つという気迫と集中力に欠けていた。

自分は、もつともつとサイドプレーヤーとしてやらなければならぬ仕事をしつかりできるようにしたい。まだまだ45度に負担が多すぎる。

北朝鮮にとって、日本に勝ったということは、これからの大きなステップになると思う。日本の女子ハンドボールは、「中国」、「韓国」だけでなく、ほとんどのアジアのチームをあなどれなくなった。アジア大会で思わぬ展開になってしまい自分たちの力のなさに痛感した。しかし、アジア内でのこのされないように頑張りたい。

閉会式

小松崎 浩子

9月22日から中国・北京で行われた第11回アジア競技大会も10月7日で幕を閉じました。16日間各競技熱戦を繰り広げ、最終日の閉会式では中国独自のさまざまな演技で、私たちの目を楽しませてくれました。大観衆の中入場して行くと、閉会式の時とは違った緊張感があり、また、終ったんだな

という安心感もありました。聖火が消えるのを見た時は、少し悲しいような気持ちでした。選手団が退場した後は、子供たちの演技で、華麗な踊りで楽しませてくれました。何人ぐらいいで踊っていたのか、考えられないくらい多くの人数の子供たちが同じリズムで、間違えなく、きちんと踊る姿がとても可愛らしかったです。この日のために、毎日毎日練習していたのかと思うと、私たちと同じで、練習して発表する場、試合と同じことだと思いました。あれだけの人数を指導する人も大変なことで、いろいろな苦労もあったと思いますが、大成功に終わり、きつと満足していることでしょう。

子供たちの演技の後は、中国のすばらしい歌手の歌を聞きました。すき透るような声が場内にひびき、会場を一層盛り上げました。そして、次回行なわれる広島でのアジア大会のための歌と、今大会のマスケットでもあるパンダが登場し、広島でのマスケットと一緒に場内をまわり、楽しませてくれました。そしてファイナレを飾るのにふさわしい火花が打ち上げられました。いろいろな火花が打ち上げられるたびに、観声があがり、私たちを十分に満足させてくれました。同時に、今大会の幕を閉じました。16日間という長い期間、それぞれ反省すること、考えることが一人一人あったと思います。満足の

行く者もいたと思いますが、日本で、広島で行なわれるアジア競技大会では、今大会以上の力で頑張つてほしいと思います。また、来年10月に行なわれるオリンピック予選では必ず勝つて、バルセロナに行きたいと思います。日々の努力と各自の自覚とで、また気持ち切り変えて自信を持って次の大会に臨んでほしいと思います。

中国の印象

西村 聖子

中国北京空港に足を踏み入れるのは2度目。私が高校1年の時にきた4年前と比べて、どう変わっているだろうと、大いに期待をして中国にのりこみました。中華人民共和国の首都であり、政治、経済、科学と文化の中心地である北京で開催された今大会は、中国だからこそできるというのが前面に

でた大会でした。運営、設備、そして警備の厳重さは、私の予想を遙かに超えた大規模なものでした。国ぐるみで高い理想を掲げて労働を尊んでいる社会を実際眺めて、資本主義である日本とは違うということを実感しました。市内の様子を最も印象づけるのは、おびただしい自転車です。100mはある道幅もラッシュ時には半分は埋めつくし、川のように流れていました。バスに乗って移動中の時のこと。大通りを走っていると、前方にいきなり飛び込んで

きて素早く横切る人がいます。危うく事故になるところで、私はヒヤリとしました。日本であれば一番キモを冷やすのは運転手なのに、当の運転手は怒鳴りもせず、その上顔色ひとつ変えず、平然として運転を続けていました。その後も正面衝突しかねまじき勢いですれ違ふ。クラクションが凄まじい。ノロノロと前をいくトラックを追い越そうとしては鳴らし、フラフラと道路の真ん中へ入ってくる人や自転車を、追い払おうとしては鳴らす。車が近づいても悠然として歩いていくのですから、安心してバスに乗っていることができなくなりました。これから中国では、交通ルールを徹底させる必要があると痛感しました。

この遠征期間中、選手村で生活をしていく私は、一度、一般の人の生活をみたいと思っていました。が、素顔の中国をみる事ができずに終わってしまいました。ただ、わずかながら一般の人と接したり、通訳の人から聞いたことから思うと、日本人と中国人を比べると、日本人の短気が目立ちます。中国人は気の長い人間です。定期通り出発しないバスの中で、イライラして文句をいっているのは日本人。中国人は待つことには慣れているとみえて、少しもイライラせず、のんびりとおしゃべりしている。最初は、私もずいぶんイライラしていましたが、中国では焦っても

仕方がないと思い、何事にも待つことにしました。分刻みで行動している日本人からは、考えられないことですが、中国人の考えからいうと、「すべては時間が決める。自分の力で決まるものではない、自然のままに任せている。」ということです。道端でも、日本では見ることのない光景が多々ありました。日なたぼっこをしている人、甚を打つ二人の周りに群がる人、試合会場の周りで写真を撮る家族連れの多さ……。

どこを見ても、人、人、人、の北京の街——。アジア大会が開催されるにあたって、改善された北京の街は、新と旧の調和を保ち、市内の史跡のゆきとどいた保存にも、手が加えられているたがずまいでした。また、ところどころに、国内情勢の不安定さを感じましたが、「社会主義中国」は、豊かな国家を目指して「現代化」が進められている、活気的な国という印象が、強く残りました。



各地学生秋季リーグ戦から

北海道学生

(10月5~7日/北大体育館ほか)

▼男子1部

北海学園大	34	15	室蘭工大
函館大	26	11	小樽商科大
北 大	36	23	北教大函館
函館大	18	11	小樽商科大
函館大	39	16	北海学園大
函館大	17	15	小樽商科大
函館大	52	9	室蘭工大
北 大	22	17	北海学園大
函館大	40	7	北教大函館
小樽商科大	16	15	北海学園大
北 大	30	12	室蘭工大
北教大函館	31	15	室蘭工大
小樽商科大	22	11	室蘭工大
北海学園大	25	12	北教大函館
函館大	32	14	北 大

▼男子2部

札幌大	21	21	北教大旭川
北教大釧路	27	16	北大医学部
北星大	24	23	北見工大
北教大釧路	25	18	北教大旭川
北星大	24	13	札幌大
北教大旭川	22	18	北星大
北見工大	24	18	札幌大
北大医学部	26	26	北教大旭川
北星大	24	18	札幌大

▼男子3部

釧路公立大	22	10	北海道工大
札幌学院大	26	17	道都大
北見工大	35	25	学園大北見
北海道工大	52	12	学園大北見
釧路公立大	27	24	道都大
札幌学院大	28	19	北海道工大
札幌学院大	38	9	学園大北見
道都大	24	16	北海道工大
釧路公立大	22	18	札幌学院大
道都大	38	10	学園大北見

▼女子

北教大旭川	25	13	北星大
道女短大	25	8	北星大
北教大旭川	16	15	道女短大

(順位) ①北海道教育大旭川分校 ②北海道女子短期大 ③北星学園大

▼男子1部

東北福祉大	23	21	岩手大
東北学院大	21	18	岩手大
仙台大	24	16	岩手大
岩手大	25	25	東北大
福島大	23	22	岩手大
東北学院大	23	21	東北福祉大
東北福祉大	36	20	仙台大
東北福祉大	35	19	東北大
東北福祉大	32	22	福島大
東北学院大	27	17	仙台大
東北学院大	23	23	東北大
仙台学院大	25	24	福島大
仙台大	30	26	東北大
仙台大	29	28	福島大
東北大	20	17	福島大

(順位) ①東北学院大 ②東北福祉大 ③仙台大 ④東北大 ⑤福島大 ⑥岩手大

▼男子1部

福島大	41	6	宮城教育大
福島大	28	12	山形大
山形大	21	6	宮城教育大

(順位) ①東北福祉大 ②福島大 ③岩手大 ④山形大 ⑤宮城教育大

▼男子入替戦

福島大	34	21	宮城教育大
岩手大	24	21	山形大

※福島大、岩手大ともに1部残留。

関東学生



Chataise



召しませ自然。

シャトレゼのお菓子は山梨育ち。
日本一の果実郷と極上の酪農地帯です。
澄んだ空気と豊かな自然を、
満載しています。
そして、日本中をおいしい笑顔でみたとうと
シャトレゼのフレッシュパワー、
ハンドボール部ともども、
21世紀に向けて、
さらに大きく飛躍しようとしています。

株式会社シャトレゼ

山梨県東八代郡中道町下曾根3440-1 〒400-15
電話(0552)66-5151(大代) FAX(0552)66-5156

(10月3~6日/仙台市ト育館)

東北学生

各地の記録から...

東北

青森県中央地区高校秋季大会

(9月22、23日/青森商業高校)

男子リーグ戦

青森	19	13	青森東
青森商	27	12	青森南
青森	20	15	今別
青森商	24	12	青森山田
今別	32	9	青森東
青森山田	13	12	青森南
5位決定戦			
青森東	18	12	青森南
3位決定戦			
今別	16	9	青森山田
決勝			
青森商	24	6	青森
女子リーグ戦			
青森東	8	8	青森商
青森西	15	7	今別
青森中央	31	2	青森東
青森西	23	2	青森商
青森中央	24	6	今別
青森西	24	1	青森東
今別	23	3	青森商
青森中央	33	2	青森商
今別	26	1	青森東
青森西	14	12	青森中央

青森県南地区高校秋季大会

(9月23、24日/野辺地高校)

男子リーグ戦

野辺地	33	13	三本木農
三本木	15	6	七戸
十和田工	17	11	七戸
三本木	26	11	三本木農
野辺地	22	10	十和田工
野辺地	15	14	三本木農
七戸	31	10	三本木
野辺地	13	12	十和田工
三本木農	17	15	十和田工
三本木	27	17	七戸
野辺地	27	17	七戸
(順位)①野辺地②三本木③十和田④七戸⑤三本木農			
女子リーグ戦			
六ヶ所	15	4	野辺地工
野辺地	11	3	三本木
三本木	6	5	六ヶ所
野辺地	31	3	野辺地工
野辺地	18	6	六ヶ所
三本木	9	2	野辺地工
(順位)①野辺地②三本木③六ヶ所④野辺地工			

第11回青森県西部地区高校秋季大会

(10月10日/鯉ヶ沢高校)

男子リーグ戦			
五所川原	19	11	白農

関東

第25回群馬県中学総体

(7月30、31日、8月1日/富岡小学校ほか)

男子

南八幡	20	8	前橋一
相生	23	11	前橋三
藤岡南	23	15	下仁田西
富岡	22	9	富岡西
甘楽二	34	8	梅田
矢中	21	13	甘楽三
富岡東	28	8	藤岡北
2回戦			
富岡南	27	12	南八幡
藤岡南	21	13	相生
甘楽二	17	14	富岡
富岡東	16	6	矢中
準決勝			
富岡南	24	15	藤岡南
富岡東	27	11	甘楽二
決勝			
富岡南	13	8	13富岡東
富岡南	21	7	7富岡東

鯉ヶ沢	26	5	柏農
鯉ヶ沢	26	16	五所川原
(順位)①鯉ヶ沢②五所川原③柏木農			

東海

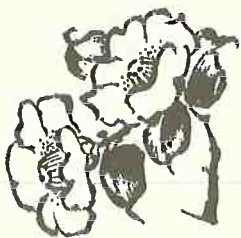
岐阜県高校総体

(8月18、19日/岐阜南高校グラウンド)

男子

海津北	28	5	大垣工
大垣西	22	8	大垣工
各務原	24	8	大垣東
岐阜南	18	8	大垣東
各務原西	24	8	大垣東
2回戦			
各務原	26	6	各務原
市岐商	17	9	高山工
加納	28	12	中濃西
岐陽	16	3	可濃工
岐阜西	18	10	大垣北
岐阜南	14	10	大垣北
岐阜東	17	4	斐垣太
岐阜東	11	10	各務原商
各務原西	23	2	加納
岐阜西	16	13	岐阜北
岐阜南	24	11	岐阜北
岐阜東	4	4	各務原西

市岐商	25	11	14	7	12	富田女
岐阜東	14	21	13	10		
準決勝						
市岐商	14	21	13	10		
岐阜東	14	21	13	10		
決勝						
市岐商	11	14	7	12	富田女	
岐阜東	14	21	13	10		
1回戦						
養老女	13	22	6			羽島北
加納	30	13	7			大垣東
富田女	8	1	6			大垣女
益田	16	8	6			不破
岐阜商	12	16	1			高山西
大垣北	12	0	4			瑞浪
郡上	13	4	8			各務原西
高田	14	13	8			
2回戦						
養老女	17	3	2			加納
富田女	14	14	3			益田
岐阜商	18	6	6			大垣北
高山	16	2	2			郡上
準決勝						
富田女	16	12	8			養老女商
高山	12	8	12			岐阜商
決勝						
高山	8	7	6			富田女



'91広島

アジアハンドボール選手権大会 を成功させよう!!

—第6回男子・第3回女子アジアハンドボール選手権大会
兼バルセロナオリンピッククアアジア地区予選—

(日程) 一九九一年八月二十二日(木)～九月一日(日)

(大会会場) 広島サンプラザ・広島市東区スポーツセンター

(財)日本ハンドボール協会
広島県ハンドボール協会

昭和四十年六月七日 平成二年十一月二十六日 印刷
第三種郵便物認可 平成二年十二月一日 発行

桜田淳子は、東洋証券が、
好きになっちゃったみたいです。

10万円から始める、あかるい財テク

中期国債ファンド

公社債投資信託・追加型 (設定・運用は日興投信)



東洋証券

■本 店：〒103 東京都中央区日本橋1-20-5 ■電 話：03(274)0211

■全国43支店 ■海 外：ロンドン・ニューヨーク・香港

■資本金：総額2,900万円 ■東京・大阪・広島一部上場

東京都渋谷区神南1-1-1
電話 代表(03)二三六一
振替 東京 六一五八三四八番
編集兼 安藤純光
発行人

定価三百五十拾円
(三年間購読料)
三千三百円